

目次

2	ご挨拶
3	2018年度【年間啓発活動】における賛助会員・協賛企業紹介
4	ビーチゲームズ日本招致プロジェクト事業 ・ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018
	里浜づくり事業
24	・第12回ビーチライフIN新潟
26	・ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦2018
	ビーチライフ啓発事業
29	・須磨ビーチフェスタ2018～スプリングビーチライフ～
32	・第24回須磨青空元気フェスティバル～オータムビーチライフ～
35	・酒田ビッグビーチフェスタ2018
	東扇島東公園開園10周年記念事業
39	・ビーチウッドボール体験会inかわさきの浜
40	・ビーチライフin東扇島「ちびっこ運動会」
43	はだし青少年育成事業 ・〈杉並区事業〉親子でビーチスポーツレク！
45	ビーチで健康力アップ支援事業 ・お台場ビーチバレー2018
48	「ビーチの日」啓発事業 ・～ビーチの日～メッセージアート展2018
52	後援事業
	その他活動報告
55	・朝日健太郎理事長
61	・遊佐雅美副理事長
68	・NPO法人日本ビーチ文化振興協会
74	はだし文化新聞
79	2019年度事業計画

ご挨拶

昨年度、当協会は15周年の節目を迎えました。

新たな決意のもと、海辺文化創造のさらなる推進を目指し、これまで協力関係にあった自治体との連携強化、ビーチスポーツネットワークの活性化、ビーチゲームズ日本招致活動などを軸に、日本各地のビーチで様々な活動を行うことができました。

ここに、平素よりお支え頂いている企業の皆様はじめ、関係団体の皆様へ心より御礼申し上げます。

観光資源としてのビーチ

2019年より、海外渡航者に対して出国税と呼ばれる観光旅客税が課せられるようになりました。

観光庁において、ここから得られる新たな財源を活用し、観光を日本の基幹産業へと成長させ、その経済効果を全国津々浦々まで波及させるための様々な施策が取り組まれています。

その一環として、当協会のこれまでの活動、提言が大いに繁栄され、ビーチの活用が観光コンテンツ創出の取り組みの大きな柱の一つとして位置づけられることになりました。

当協会の設立理念でもある、海水浴のみならず一年を通じたビーチの活用が、いよいよ国の観光政策として推進されることも期待できる状況になってきました。

当協会としては、観光庁、自治体はもとより、これまでご指導、ご支援、ご協力いただいた多くの方々との連携の下、観光資源としてのビーチ活用を推進し、国内外にその魅力を発信できるよう取り組んで参りたいと思っております。

ビーチイノベーション

2019年10月、米国サンディエゴで、世界初となる「ワールドビーチゲームズ」の開催が予定されています。

一方、「アジアビーチゲームズ」は2008年インドネシア・バリ大会から始まり、数年毎にアジア各地で開催されており、当協会でも日本招致に向けたプロジェクトを進めているところです。

ビーチスポーツは、ここ数十年の間で世界的に定着してきています。

中でもビーチバレーボールは、1996年から五輪正式種目となっています。

ビーチの活用は、かつての湯治、海水浴からスポーツ、レジャーなどその幅が広がってきていますが、当協会でも、その幅をさらに広げるべく、ビーチ落語、ビーチナイトBAR、ビーチ運動会などを実施して参りました。

当協会では、「そんなことビーチでできる訳がない」といった固定観念を拭い去り、「もしかして?」、「こんなことできるのは?」といった、ワクワク感、探求心を大切に、ビーチイノベーションを追求していきたいと思っております。

2019年度に向け原点回帰 ビーチライフの全国展開

当協会は昨年度、15周年の節目を迎えましたが、これまでの活動を振り返ってみますと、100年の計としてのビーチ文化創造を理念に、ビーチ活用による地域活性化、ビーチスポーツの振興等、様々なチャレンジをして参りました。

おかげさまで、こうした活動を通じて、各自治体との連携、ビーチスポーツネットワークの構築が進み、各地からビーチ活用についてのご相談をいただくようになり、日本の中でもビーチ文化が少しずつではありますが、浸透してきていることを実感できるようになりました。

次年度は、当協会の活動の原点である、「ビーチライフ（ビーチ資源の新たな利活用）イベント」の全国展開に再度注力していきたいと思っております。

「ビーチライフイベント」を通じてビーチに対する関心の深化、ビーチの持続的・通年的な活用を促し、ビーチが地域活力の源泉となることを目指します。

皆様におかれましては、「ビーチライフイベント」の周知にご協力いただきますとともに、自らもご参加いただけますようお願い申し上げます。

おわりに

当協会はこれからも皆様とともに日本の元気をビーチから創出できるよう取り組んで参る所存です。

引き続き当協会へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



NPO法人日本ビーチ文化振興協会

チーフプロジェクトオフィサー 朝日 健太郎

2018年度【年間啓発活動】における賛助会員・協賛企業紹介

一年間のご指導ご協力、心より感謝申し上げます。

【個人賛助会員数】 113名

【広告協賛企業数】 41企業

【団体賛助会員数】 16団体

※五十音順（2018年4月1日～2019年3月31日まで）

2018年度ご協力頂いた団体・企業様

ご協賛企業

※五十音順

 あおみ建設株式会社	 有川海事土木株式会社	 建築・土木・鉄筋工事一式 株式会社 池内工業
 株式会社 池間組 IKEMA	 Onahama Senpaku	人と環境に優しいコンクリートづくりを目指す  株式会社 柏木興産
 加藤総業株式会社	 金鶴食品製菓株式会社	 共 KYOEI
 日下部建設株式会社	 GRAND NIKKO TOKYO DAIBA	 株式会社 小島組
 五洋建設 PENALIZAN CONSTRUCTION	 SHIBATA	 株式会社 須田工務店
 大旺新洋株式会社	 第五工業株式会社	 TK タチバナ工業株式会社
 D E C K S Tokyo Beach	 東亜建設工業 TOA CORPORATION	 東光電気工事株式会社
 東洋建設	 UNDER ARMOUR	 株式会社 トマック
 NISHIKI SHIPPING & CONSTRUCTION Co.,Ltd. 錦海運建設株式会社	 株式会社 日本港湾コンサルタント	 一般財団法人 日本スポーツ振興会
 HATTORI	 FORVAL	 深田サルベージ建設株式会社
 FUJOTETRA 株式会社 不動テトラ	 松浦企業株式会社 MATSUJIRA	 株式会社 松本工務店 MATSUMOTO
 MIKUNIYA	 wave	 みらい建設工業
 株式会社 ヤナイ	 YSC 寄神建設株式会社	 ヨマス商事株式会社
 りんかい日産建設	 WAKACHOU 若築建設	

団体賛助会員

ibaraki Beachvolley Club	株式会社ウエスタンコーポレーション	 一般社団法人ウォーターフロント協会
貝塚市観光協会	株式会社協栄	株式会社櫻茶ヤ
特定非営利活動法人 JAPANビーチサッカーネットワーク	 株式会社 NCS 株式会社 ナカボーテック	 株式会社 ナカボーテック
一般社団法人日本サンボ連盟	一般社団法人 日本スラックライン連盟	 一般社団法人 日本マリナービーチ協会 Japan Marina & Beach Association
ビーチライフ in 新舞子実行委員会	ぶーにゃんコミュニケーション	碧南市
WAO研究所		

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト事業 ジャパンビーチゲームズ フェスティバル®2018

2018年5月

最高に楽しい
ビーチを体験しよう

みんなで
のびのびと楽しむ
ビーチゲームズ

実行委員会／共催：一般財団法人
東京都／一般社団法人東京臨海副都

グループ

Festi

2014年から「ビーチゲームズ日本招致プロジェクト」を発足し、各競技団体とビーチゲームズの理解と連携を図るための勉強会を、過去4回開催してきました。また、2017年5月には「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2017」を実施し、各種目の公式戦を観戦いただき全国へビーチゲームズの魅力を啓発し、好評を得ることができました。

これを踏まえ、更にビーチ・マリンスポーツを理解いただくために、また、身近に感じていただけるようコンセプトを「体験する」とし、体験会を主軸に企画し、期間中はいつ会場にきてもビーチ・マリンスポーツが体験できる「はだしテーマパーク」を演出し、トップアスリートと触れ合うことでより身近に魅力を啓発できる機会といたします。

また、「心のバリアフリー」形成を目的とし、幼児から大人まで様々なパラスポーツをトライできる、はだしテーマパークを展開し、心のハードルを排除し目線を共有し楽しむことで「誰もが友達になれるビーチ」を作ります。そして、ビーチ・マリンスポーツの魅力を広く認知いただくことで『アジアビーチゲームズ』『ワールドビーチゲームズ』を全国の自治体、国民の皆様理解していただくこと、更にはビーチ・マリンスポーツ競技団体のネットワークを強化することを目的としています。

【ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル2018 実施概要】

ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018 3つの大会コンセプト

1. ビーチ資源の最大化を目指して、ビーチ・マリンスポーツ競技を活かす
2. 「心のバリアフリー」の形成をめざし、誰もが友達になるため、幼児から大人まで様々なパラスポーツを体験し楽しむ
3. ビーチスポーツ総合国際大会招致に向けての取り組みを全国に発信

- 開催日： 2018年5月3日(祝木)～5月5日(土)
- 天候： 5月3日…曇り (最高気温27.4℃、最低気温17.5℃)
5月4日…晴れ (最高気温23.8℃、最低気温14.2℃)
5月5日…晴れ (最高気温24.3℃、最低気温11.5℃)
- 実施会場： お台場海浜公園おだいばビーチ (東京都港区)
- 主催： ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会
- 共催： 一般財団法人みなと総合研究財団
- 後援： 国土交通省、観光庁、スポーツ庁、東京都、
一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ※順不同
- 協賛： 東洋建設株式会社、東亜建設工業株式会社、五洋建設株式会社、
みらい建設工業株式会社、若築建設株式会社、りんかい日産建設株式会社
ゼニヤ海洋サービス株式会社、株式会社トマック、株式会社小島組、
シバタ工業株式会社、グランドニッコー東京 台場、デックス東京ビーチ、花王株式会社※順不同
- 入場料： 無料 (一部有料)
- 周辺動員数： 5月3日 10,000人
5月4日 12,000人
5月5日 18,000人
合計40,000人
- 実行委員会：

委員長	朝日 健太郎 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会理事長)
副委員長	遊佐 雅美 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会副理事長)
事務局長	吉澤 裕子 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会)
委員 (総務)	門脇 義徳 (日本ビーチバレーボール連盟理事長)
委員 (競技・体験)	大住 寛 (一般社団法人日本ビーチテニス連盟)
委員 (救護・警備)	植木 将人 (特定非営利活動法人日本ライフセービング協会)
委員 (地元調整)	成尾 江美 (マリnhaus・エフカイビーチ)
委員 (心のバリアフリー)	根木 慎志 (日本財団パラリンピックセンターあすチャレ！)
顧問	師岡 文男 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会参与 / 上智大学教授)
監事	松本 吉立 (NPO法人日本ビーチ文化振興協会)

■ 体験・観戦人数

プログラム	5/3(THU)		5/4(FRI)		5/5(SAT)			
	参加者数	周辺動員数	参加者数	周辺動員数	参加者数	周辺動員数		
ビーチバレーボール	選手48	観戦1281	選手32	観戦1366	*1	観戦1735		
ビーチテニス	80	30	120	30	100	30		
ビーチサッカー	/		180	700	250	800		
ビーチドッジボール			102	12	150	148		
ビーチフラッグス			120	200	120	200		
ビーチサン跳ばし			132	230	163	280		
スラックライン			90	500	90	500	*2	500
ビーチ雪合戦	天候不良のため中止		/		/			
フレスコボール	100	1500					500	1000
フライングディスク	54	90	/		/			
ビーチサンボ	/						*3	100
車いすバスケットボール							/	
ビーチヨガ・サップヨガ	/		50	75				
ビーチウッドボール			50	100	50	100	/	
飲食店	販売品目			集客人数				
BOX LUNCH CASA	・シーフードパエリア弁当 ・アルボンディガス (スペイン風肉団子)			280人				
アーバンコンサルティング	・サーロインステーキ100g ・サーロインステーキ150g ・フランクフルト			480人				
DELICA TESSSEN CASA	・ポキ丼 ・スパムむすび			350人				
BAR REAL	・生ビール ・水 (ペットボトル) ・コーラ (ペットボトル) ・アクエリアス (ペットボトル) ・サングリア ・レモンサワー			970人				
M-CHU	・チョコレートワッフル ・メイプルワッフル ・黒蜜きなこワッフル ・ソーセージワッフル ・コーヒー ・紅茶 ・マンゴーフローズン ・ミックスベリーフローズン ・レモネード			280人				

*1 選手16人、スクール延べ100人

*2 大会参加30人

*3 大会参加27人、演武演者5人、体験参加10人

■ 広報物（ポスター）

配布枚数：1,000枚

配布先：150箇所

国土交通省港湾局（局長室、他）国土交通省関東地方整備局、東京都、他自治体、東京都江戸東京博物館、公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター、公益財団法人日本国際教育支援協会、一般財団法人地方公務員等リライブ協会、東京リゾート&スポーツ専門学校、一般財団法人日本スポーツ振興会、地元自治体、地元小中学校・保育園・幼稚園、地元企業、各ビーチスポーツ団体、衆参議員会館、関係企業、賛助会員、他



ビーチゲームズ日本招致プロジェクト

JAPAN BEACH GAMES Festival 2018

日時：2018年5月3日[火]—5月5日[土] 9:00~17:00

5月5日、オープニングセレモニー開催。ビーチゲームズ日本招致プロジェクト主催の朝日競馬場、浅草公園が会場予定!

会場：お台場海浜公園おだいばビーチ 入場料/観覧料/入場料 無料 (一部有料)

体験できる競技：ビーチバレーボール/ビーチテニス/ビーチフットボール/フリスビー/ビーチサッカー/フライングディスク/ビーチフラッグス
ビーチダンス/スラックライン/ビーチサップ/ビーチウッドボール/ビーチ書合戦/ビーチヨガ/サブビーチバレーボール/重いバスケボール

主催：ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会/共催：一般財団法人みなと総合研究財団

協賛：国土交通省/観光庁/スポーツ庁/東京都/一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会/臨海ホールディングスグループ/国際研究交流大学村(※特許)

協賛：東洋建設 TUA CORPORATION 五洋建設 ならい建設工業株式会社 若築建設 日産建設
東芝システムエレベーター 株式会社トマック 株式会社小島組 SHIBUYA GRAND NIKKO TOKYO SABA D&K S

お問い合わせ：ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会/事務局：NPO法人日本ビーチ文化振興協会 03-3552-1171 E-mail: info@jbeach.jp

入場 無料
体験 無料

『心のバリアフリー』。
誰もが集う、
友達になれる
ビーチへ。

詳細は「ビーチ文化」で検索!
Aina 洗尾英和
Kantaro Anzai 朝日健太郎



JBG JAPAN BEACH GAMES

■広報物（パンフレット）

配布枚数：15,000枚

配布先：150箇所

国土交通省港湾局（局長室、他）国土交通省関東地方整備局、東京都、他自治体、東京都江戸東京博物館、公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター、公益財団法人日本国際教育支援協会、一般財団法人地方公務員等リプラン協会、東京リゾート&スポーツ専門学校、一般財団法人日本スポーツ振興会、地元自治体、地元小中学校・保育園・幼稚園、地元企業、各ビーチスポーツ団体、衆参議員会館、関係企業、賛助会員、他

ビーチゲームズ日本招致プロジェクト
JAPAN BEACH GAMES Festival 2018
 2018年5月3日[木]—5月5日[土] 9:00~17:00
 5月5日、オープニングセレモニー開催。ビーチゲームズ日本招致プロジェクトビーチゲームズフェスティバル開催。会場は別途予定。
 お台場海浜公園おだいばビーチ 無料 (一部有料)

TIME SCHEDULE ■ = 観戦スケジュール ■ = 体験スケジュール

5月3日(祝木)										5月4日(祝金)									
9:00	ビーチバレーボール 観戦無料	フリスコ ボール 観戦無料	ビーチ バレーボール 観戦無料	ビーチ テニス	スラック ライン	ビーチ バレーボール	フライング ディスク	ビーチ ウッドボール		9:00	ビーチ バレーボール 観戦無料	ビーチ テニス	ビーチ サッカー	ビーチ フラッグス	ビーチ バレーボール	スラック ライン	フリスコ ボール	ビーチ ウッドボール	
10:00	開会式	開会式	開会式	試合	練習	試合	練習	試合		10:00	開会式	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
11:00			試合	試合	練習	試合	練習	試合		11:00	試合	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
12:00			試合	試合	練習	試合	練習	試合		12:00	試合	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
13:00			試合	試合	練習	試合	練習	試合		13:00	試合	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
14:00			試合	試合	練習	試合	練習	試合		14:00	試合	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
15:00			試合	試合	練習	試合	練習	試合		15:00	試合	試合	試合	試合	試合	練習	試合	試合	
16:00	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式		16:00	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	
17:00										17:00									

5月5日(祝土)													
9:00	ビーチバレーボール 全試合観戦無料	ビーチサンボ 観戦無料	スラックライン 観戦無料	ビーチ バレーボール	ビーチ テニス	ビーチ サッカー	ビーチ ドッジボール	ビーチフラッグス	ビーチサンボ	フリスコ ボール	ビーチサンボ	ビーチコバ ナップヨガ	楽しい バスケットボール
10:00	開会式	開会式	開会式	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合
11:00	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合
12:00	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合
13:00	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合
14:00	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合	試合
15:00	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式
16:00	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式	表彰式
17:00													

お問い合わせ：ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会/事務局：NPO法人日本ビーチ文化振興協会 03-3552-1171 E-mail: info@jbcg.jp

—パンフレット表面—

■公式ホームページ

URL : <http://www.jbeach.jp/event/2018JBG/index.html>

アクセスビュー : 264,428 (2018年3月1日~5月31日)



ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018の活動報告こちらから >>

ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018 3つの大会コンセプト

- 1.ビーチ資源の最大化を目指して、ビーチ・マリンスポーツ競技を活かす
- 2.「心のバリアフリー」の形成をめざし、誰もが友達になるため、幼児から大人まで様々なバラスポーツを体験し楽しむ
- 3.ビーチスポーツ総合国際大会招致に向けての取り組みを全国に発信



名称	ジャパンビーチゲームズ®フェスティバル2018 (JAPAN BEACH GAMES®Festival 2018)
開催日	2018年5月3日(木)~5月5日(土)
会場	お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区台場)
主催	ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会
共催	一般財団法人みなと総合研究財団
後援	国土交通省、観光庁、スポーツ庁、東京都、 一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、 東京臨海副都心グループ
協賛	
入場料	無料(一部有料)
実施プログラム	体験できる競技: ビーチバレーボール/ビーチテニス/ビーチドッジボール フレスコボール/ビーチサッカー/フライングディスク ビーチフラッグス/ビーチサンダンス/スラックライン ビーチサンボ/ビーチウッドボール/ビーチ番合戦/ビーチヨガ サップヨガ/重いバスケットボール



【心のバリアフリー】

■ 趣 旨

『心のバリアフリー』それは、誰もが素敵に輝ける社会での心のあり方。

心のバリアフリーの形成。それは、誰もが素敵に輝ける社会での心の在り方であり近年のバリアフリーというハードだけではないことが特徴です。今、ハンディキャップがある人々にとって、『海／ビーチ』は遠い存在であります。

なぜならビーチや海辺の砂、岩場には車いすが通れる舗装された道はないからです。しかし、『海／ビーチ』は多くの恩恵を授けてくれ、誰もが恩恵を受ける権利があります。道がなくても、例えば親友が同じ状況なら、背負って一緒に行くはず。そこがこの事業のポイントで、心地よいと感じる『海』だからこそオープンな心で人と接することができるのです。

『海／ビーチ』は心のバリアフリーを作る最適な場所。

当協会では、海／ビーチに素直に足が向けられるよう、老若男女どのよう方でも友達になる場所として、ビーチの活用を推進します。2年後の東京2020には「心のバリアフリー」が皆様に理解されるように活動を続けます。

■ 実施運営：日本財団パラリンピックサポートセンター 根木慎志

＜ハンディキャップがある人もそうでない方も同じ競技と一緒にトライ！します＞



災害用時の引手がついた車いす「jinriki（ジンリキ）」でビーチフラッグス



車いすバスケットボール



ボッチャ



浅尾氏も心のバリアフリーを体験



ビーチテニス

【オールスタービーチフラッグス&ビーサン跳ばし選手権大会】

- 目的 : 今年、14の競技団体が『ジャパンビーチゲームフェスティバル2018』に参加しています。そこで、各競技 団体から代表選手を選出して頂き、ビーチフラッグス、ビーサン跳ばし大会を行いました。普段から鍛えあげられた身体を発揮し、会場に大きなにぎわいの華を添えました。
- 実施日 : 2018年5月5日(土)
- 参加団体 : ビーチバレーボール、ビーチテニス、ビーチサッカー、フライングディスク、ビーチフラッグス、ビーサン跳ばし、ビーチ雪合戦、ビーチドッジボール、ビーチサンボ、スラックライン、フレスコボール、ビーチ・サップヨガ
- 賞金 : 各競技の優勝者に賞金1万円を贈呈
- 優勝 : ビーサン跳ばし大会 猪爪賢史 (ビーチフラッグス)
ビーチフラッグス大会 原口翔太郎 (ビーチサッカー)



各競技団体の精鋭たちがビーチフラッグスに挑戦



10回ぐるぐると回ってからビーサンを跳ばして少し難しくしました



チームの仲間は大喜び



表彰式



開会式集合写真



マイナビジャパンビーチバレーボールツアー-2018
第2戦東京大会



子どもから大人まで人気のビーチバレーボールスクール



ギボンストラックライン
JAPAN BEACH GAMESR 2018



不安定な綱の上でバランスをとりながら進むストラックライン



第1回全日本ビーチサンボ選手権大会開催



旧ソ連でうまれた軍隊格闘術



フレスコボールオダイバカップ2018



ブラジル発祥の新感覚ビーチスポーツ



ビーチドッジinお台場



子どもに人気のドッジボール



ボールをバウンドせず空中で相手コートに返すビーチテニス



円盤をパスしあうアメリカ発祥のフライングディスク



ハンディキャップのある人も楽しめる車いすバスケットボール体験



アクロバティックなシュートで魅せるビーチサッカー



サーフボードの上でヨガを行うサップヨガ



潮風と太陽を浴びながら行うビーチヨガ



判断力と瞬発力が重要となるビーチフラッグス



ビーサンを遠くまで跳ばして飛距離を競うビーサン跳ばし大会



本物の雪で雪玉をつかって投げ合うビーチ雪合戦



ゴルフをベースに考案されたビーチウッドボール

■ 掲載・放映情報※順不同

- OKWAVE Guide (株式会社オウケイウェイヴ)
- BEST TIMES [ベストタイムズ] (株式会社ベストセラーズ)
- ハピママ* (ぴあ株式会社)
- 暮らしニスタ (株式会社主婦の友社)
- JJnet [ジエイジエイネット] (株式会社光文社)
- Mart Community Blog [マートコミュニティーブログ] (株式会社光文社)
- eltha [エルザ] (オリコン株式会社)
- CLASSY.ONLINE[クラッシー・オンライン] (株式会社光文社)
- CREA WEB (株式会社文藝春秋)
- 一個人 (株式会社ベストセラーズ)
- STREET JACK (株式会社ベストセラーズ)
- Number Web (株式会社文藝春秋)
- funDOrful [ファンダフル] (ぴあ株式会社)
- Traicy [トライシー] (メディアエージェンシー有限責任事業組合)
- ReseMom [リセママ] (株式会社イード)
- フレッシュアイ (株式会社スカラコミュニケーションズ)
- 30min [サンゼロミニッツ] (株式会社イード)
- SEOTOOLS (ブラストホールディングス株式会社)
- マピオンニュース (株式会社マピオン)
- ジョルダンニュース! (ジョルダン株式会)
- 財経新聞 (株式会社財経新聞社)
- 日刊工業新聞 電子版 (株式会社日刊工業新聞社)
- STRAIGHT PRESS (株式会社マッシュメディア)
- ORICON NEWS (オリコン株式会社)
- iza (イザ!) (株式会社産経デジタル)
- おたくま経済新聞 (C.S.T Entertainment,Inc.)
- NewsCafe (株式会社イード)
- 産経ニュース (株式会社産経デジタル)
- MarkeZine [マーケジン] (株式会社翔泳社)
- 現代ビジネス (株式会社講談社)
- 時事ドットコム (株式会社時事通信社)
- ニコニコニュース (株式会社ドワンゴ)
- BIGLOBEニュース (ビッグロブ株式会社)
- エキサイトニュース (エキサイト株式会社)

- ウレぴあ総研（ぴあ株式会社）
- とれまが（株式会社サイトスコープ）
- Infoseekニュース（楽天株式会社）
- 読売新聞 [YOMIURI ONLINE]（株式会社読売新聞社）
- Jbpress [日本ビジネスプレス]（株式会社日本ビジネスプレス）
- 東洋経済オンライン（株式会社東洋経済新報社）
- @niftyビジネス（ニフティ株式会社）
- PRESIDENT Online（株式会社プレジデント社）
- 朝日新聞デジタル&M（株式会社朝日新聞社）
- 首都圏ニュース（NHK）

[日本ビーチバレーボール連盟]

- Yahooニュース（5月4日）バレーボールマガジン
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180504-00010001-vbm-spo>
- yahooニュース（5月5日）バレーボールマガジン
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180505-00010001-vbm-spo>
- yahooニュース（5月5日）web Sportiva
<https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20180510-00010004-sportiva-spo>

[一般社団法人日本サンボ連盟]

- Facebook等で撮影した写真を公開・拡散

■ 掲載記事(CLASSY.ONLINE[クラッシー・オンライン]より)

PR TIMES / イベント

2018.04.27

5月3日（木）～5日（土）東京都お台場海浜公園おだいばビーチにて『JAPAN BEACH GAMES(R)Festival2018』を開催

NPO法人日本ビーチ文化振興協会

連休はビーチスポーツが楽しい～その場で参加できる大会やトップアスリートが指導するビーチスポーツ教室など開催～

NPO法人日本ビーチ文化振興協会（理事長 朝日健太郎 所在地：東京都中央区新川）は、5月3日（木）～5日（土）まで東京都お台場海浜公園おだいばビーチにてビーチゲームズ日本招致プロジェクト『JAPAN BEACH GAMES(R) Festival2018（ジャパンビーチゲームズ フェスティバル2018）』を開催いたします。

本大会は、2008年から2年（2016年から4年毎に改正）に一度開催されているビーチスポーツ、マリンスポーツ、ハイブリッドスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」（アジアオリンピック評議会主催）、「ワールドビーチゲームズ」（国内オリンピック委員会連合主催）を2024年目標に日本へ大会を招致する啓発活動の一環としてのイベントです。「体験する!」「心のバリアフリー」をテーマに掲げ、様々なビーチスポーツをどなたでも参加できてビーチを満喫いただけるよう、皆で声を掛け合える環境をつくります。お子様から年配者まで、ハンディキャップのある方もそうでない方も、心が通じ合うような場所としてビーチを大いに活用します。

具体的には、「ビーチバレーボール」「フレスコボール」「ビーチドッジボール」「ビーチ雪合戦」「ビーチサンボ」「スラックライン」などは公式戦を実施致します。

また、お子様からご年配の方も気軽に体験できる「ビーチサン跳ばし」「ビーチフラッグス」「フライングディスク」、綱渡りとトランポリンを合わせたニュースポーツ「スラックライン」などのビーチレクリエーションやトップアスリートが直接指導する「ビーチバレーボール」「ビーチテニス」などのビーチスポーツも実施いたします。

更に、各競技団体から1名選出して頂き、「オールスタービーチフラッグス&ビーチサン跳ばし大会」を開催し、会場ににぎわいの華を添えます。



【実施内容】

名 称:ジャパンビーチゲームズ(R)フェスティバル2018

開催日 : 2018年5月3日(木)～5月5日(土) (3日間)

実施会場: お台場海浜公園おだいばビーチ (東京都港区台場1-4-1)

主 催: ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018実行委員会

(英表記：JAPAN BEACH GAMES Festival 2018実行委員会)

共 催：一般財団法人みなと総合研究財団

後 援：国土交通省、観光庁、スポーツ庁、東京都、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ

入場料：無料 (5/5ビーチバレーボール公式戦は観戦有料となります。)

実施プログラム：ビーチバレーボール/ビーチテニス/ビーチドッジボール

フレスコボール/ビーチサッカー/フライングディスク/ビーチフラッグス

ビーサン跳ばし/スラックライン/ビーチサンボ/ビーチウッドボール

ビーチ雪合戦/ビーチヨガサップヨガ/デフビーチバレーボール/車いすバスケットボール

連休はビーチスポーツが楽しい

誰でもその日に参加できる体験型ビーチスポーツレクリエーション

「心のバリアフリー」誰もが集う、友達になれるビーチへ

2018年5月5日(土) 12時より開会式

全15競技が全員集合して本イベントの開会を宣言します。

注目の体験型ビーチスポーツ注目の体験型ビーチスポーツ

■ビーチバレーボール (講師：朝日健太郎、浅尾美和)



トップアスリートによるビーチバレーボールスクールを実施。はじめて体験される方から上級者まで楽しく参加できます！ビーチの若大将とビーチの妖精が皆さんをお待ちしています。朝日のサンライズアタックを受けてみよう！

■ビーチフラッグス (講師：遊佐雅美、植木将人、猪爪賢史)

世界チャンピオンの遊佐雅美と子どもから大人まで楽しめるライフセービング競技「ビーチフラッグス」にチャレンジしよう！うつ伏せ状態から約20m離れた一直線上にあるフラッグを掴み取る競技です。

■ビーサン跳ばし (講師：ビーサンがんちゃん)

参加者みんなでビーチクリーンをして綺麗になったビーチで楽しい時間を！と始まったのが“ビーサン跳ばし選手権”。老若男女だれでも参加可能。現在の世界記録は33.13m。ビーサン協会の公式サンダルの片方を飛ばしコート内に落ちるように速くに跳ばします。

■車いすバスケットボール (講師：根木 慎志)



シドニーパラリンピック車いすバスケットボール元日本代表キャプテン 根本慎志が皆さんに車いす体験をリード。おだいばビーチに車いすバスケの体験コーナーが出現！！軽快なドリブルやシュート！心地いいビーチの空間でぜひチャレンジしてみよう！

■ビーチウッドボール

日本初！台湾発祥のゴルフビーチ版。日本では木球でグリーン場で行われているスポーツをビーチで体験。お子様から老若男女が楽しくプレーできるのでファミリーにおすすめです。

【体験型】

■ビーチヨガ・サップヨガ

モーニングビーチヨガでは、スペシャルゲスト 日本サップヨガ協会理事長 田中律子と日本サップヨガ協会アンバサダー来夏が登場します。

■ビーチドッジボール

左右のコート、内野と外野に分かれて、敵味方でボールをぶつけあいながら勝敗を競います。ドッジボールが苦手でも「なげる」「とる」「かわす」のポイントが親子でも遊びながら身につくプログラムです。

■スクラックイン

綱渡りとトランポリンを合わせたニュースポーツ『スクラックライン』スポーツ選手にトレーニングとしても取り入れられて注目されているバランススポーツ！子どもから大人まで幅広い年齢層で楽しめます。ワールドカップチャンピオン大杉徹のパフォーマンスもあります。

■ビーチテニス

「ビーチバレー」と「テニス」の特性を併せ持つニュースポーツ。ボールはバウンドさせず空中でラリーをしながらポイントを取り合います。年齢問わず家族で楽しめる手軽なスポーツです。

■ビーチサッカー

通常のサッカーより小さなピッチでプレーするビーチサッカー。試合時には音楽が流され、砂で地形が不規則のため、浮き球でパス交換しながら繋がるアクロバティックなシュートで会場全体を盛り上げます。

■フレスコボール

味方同士で向き合いラケットでボールを打ち合ってボールを落とさずにラリーを楽しむ競技です。二人で続いたラリーの回数やスピード、テクニックなどを採点して得点を競い合います。ニュースポーツを体験してみよう！

■ビーチサンボ

味方同士で向き合いラケットでボールを打ち合ってボールを落とさずにラリーを楽しむ競技です。二人で続いたラリーの回数やスピード、テクニックなどを採点して得点を競い合います。ニュースポーツを体験してみよう！

■ビーチ雪合戦

初夏のビーチで雪合戦？大人の方には、ストレス発散、女性の方にはインスタ映え、お子様の運動能力向上にこのあり得ないスポーツをご活用いただけます。一度白い雪を投げってみませんか？

【観戦型】

5月3日（木）～5（土）

■ビーチバレーボール「ジャパンビーチバレーボールツアー2018」第2戦東京大会

5/3・4 観戦無料 、 5/5 準決勝、決勝 一部観戦有料

■フレスコボール公認大会

5/3 観戦無料

■ビーチ雪合戦公認大会

5/3 観戦無料

■ビーチドッジボール公認大会

5/4 観戦無料

■ビーチサンゴ公認大会

5/5 観戦無料

<オールスタービーチフラッグス&ビーチサン跳ばし選手権大会>

5月5日（土） 13：00～13：00

5日のプログラム種目からトップアスリートが出演し、ビーチフラッグスとビーチサン跳ばしで対決！白熱の戦いが期待できます。

[企業プレスリリース詳細へ](#)

[PR TIMES トップへ](#)

[トップ](#) ▶ [PR TIMES](#) ▶ [イベント](#)

5月3日（木）～5日（土）東京都お台場海浜公園おだibaビーチにて『JAPAN BEACH GAMES(R)Festival2018』を開催

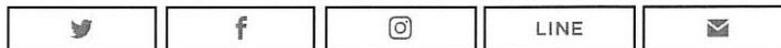
Let's Share



Follow us on



この記事をお伝えしたCLASSY.をフォローして最新ニュースをチェックしよう！



ジャパンビーチゲームズRフェスティバル開催 心のバリアフリーを目指しく 5/3〜5

NDPO法人日本ビーチ文化振興協会(朝日障本理事長)は、5月3日(日)から6日(木)まで東京都・お台場海浜公園お台場ビーチで、ジャパンビーチゲームズRフェスティバル2018を開催した。



浅尾ナビゲーター



朝日理事長



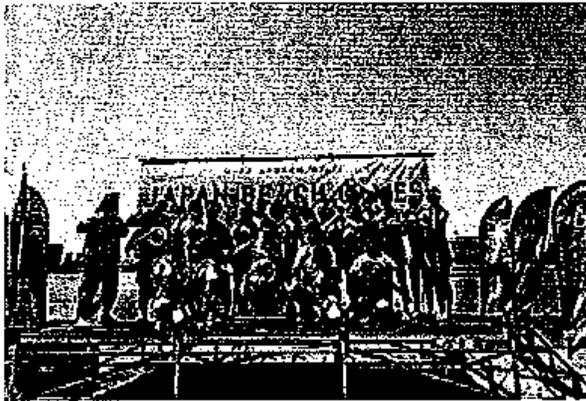
根本元日本代表



遊佐副実行委員長



師岡参与



開会式の模様(朝日理事長とビーチゲームズ競技選手たち)



ビーチフラッグス大会(心のバリアフリー・車いすを用いて)

は、正午から開会式を行い、主催者を代表して朝日障本理事長(遊佐)は、5月3日(日)から6日(木)まで東京都・お台場海浜公園お台場ビーチで、ジャパンビーチゲームズRフェスティバル2018を開催した。この心のバリアフリーは、障がい者も参加できる、誰もが楽しめる大会にしたい。日頃生活のバリアも

たい」と趣意を述べた。参加団体の紹介の後、遊佐理事長は「ジャパンビーチゲームズRフェスティバル2018実行委員会副委員長が、「この心のバリアフリーのビーチゲームズで誰もが楽しめる大会にしたい。日頃生活のバリアも

自然を取り扱われる空間で遊ぶことを目指します。オリピック・パラリンピックもある中で、これから若者男女、ハンディキャップがあってもいい方も、皆がビーチを楽しめるように、そんな日本にしていきたい」と熱い思いを述べ、ナビゲーターの浅尾美和氏を紹介した。

は、セロをラフにする発想ですね」と競技に拍手を送っていた。発案者でもある根本元志郎選手は「元日本代表は「車いすはビーチに出るよ、砂」がテーマです。それでもビーチに出ることで皆の心も自由になり、気遣い声かけサポートしてきてくれる。ハードの準備がすべてではない。これが心のバリアフリーの目指すところを感じています」と話した。

「心のバリアフリー」は、障がい者も参加できる、誰もが楽しめる大会にしたい。日頃生活のバリアもたい」と趣意を述べた。参加団体の紹介の後、遊佐理事長は「ジャパンビーチゲームズRフェスティバル2018実行委員会副委員長が、「この心のバリアフリーのビーチゲームズで誰もが楽しめる大会にしたい。日頃生活のバリアも

里浜づくり事業



【第12回ビーチライフIN新潟 実施概要】

- 趣 旨 : 日本海沿岸でも、四季を通じて海辺を楽しむことのできる通年利用の機運を根付かせるため、平成19年10月13日、社会実験として新潟港西海岸地区において『第1回ビーチライフIN新潟』が開催されました。このような海岸を利用したイベントが今後も継続して運営され、新潟市民が新潟港西海岸をレクリエーション活動の一つの場として更に活用し、新潟市民の心の故郷となり愛される海岸となることを目的としています。
- 開 催 日 : 2018年7月29日 (日)
- 天 候 : 晴れ (最高気温38.4℃、最低気温19.3℃)
- 実 施 会 場 : 日如山浜海水浴場 (新潟県新潟市)
- 主 催 : 第12回ビーチライフIN新潟実行委員会
- 共 催 : NPO法人日本ビーチ文化振興協会
- 後 援 : 国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所、新潟県新潟地域振興局新潟港湾事務所、新潟市、一般財団法人みなと総合研究財団、一般社団法人新潟県サッカー協会、新潟市バレーボール協会、新潟県民エフエム放送株式会社、公益社団法人新潟県観光協会、日本ビーチテニス連盟新潟県支部、ビーチスポーツコミュニティ新潟 ※順不同
- 周 辺 動 員 数 : 3,500人
- イベントプログラム : ・ビーチサッカー大会 (一般社団法人新潟県サッカー協会、新潟県民エフエム放送株式会社)
 ・ビーチバレーボール大会 (新潟市バレーボール協会)
 ・モーターボート、水上バイク操船体験 (NPO法人シーバードにいがたPort救難所)
 ・ビーチフラッグス (NPO法人日本ビーチ文化振興協会)
 ・海辺イベント : 宝探し、ヨーヨー釣り、スイカ割、貝殻工作 (新潟港《西港地区》工事安全対策協議会)
 ・ステージイベント (ミニコンサート、万代太鼓、神楽舞、夕チアダンス、沼垂木遣り)
 ・飲食店ブース
 ・喫煙ブース (たばこ組合)
 ・パネル出展 (北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所、新潟港西港地区工事安全対策協議会)

■ チ ラ シ :





ステージイベント



ビーチフラッグス



ラムダホテル新潟杯
第11回 ビーチバレー4人制オープン大会本部



ビーチサッカー大会



フライングディスク



ビーチテニス



水上バイク操船体験



神楽舞では恵比寿様から巻かれる
お菓子に子どもたちが喜んでいた

【ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦2018 実施概要】

- 趣 旨：海水浴時期のみならず、一年を通じてビーチを活用し地域活性化につなげること。
- 開 催 日：2018年10月14日(日) 9:00～16:00 ※9月30日(日)雨天のため、順延
- 天 候：晴れ(最高気温19.6℃、最低気温13.2℃)
- 実 施 会 場：阿字ヶ浦海岸(茨城県ひたちなか市)
- 主 催：阿字ヶ浦・磯崎里浜づくり実行委員会
- 後 援・協 力：ひたちなか市/市教育委員会/市商工会議所(青年部)/阿字ヶ浦自治会/磯崎自治会/
観光協会阿字ヶ浦支部/阿字ヶ浦観光旅館組合/阿字ヶ浦観光海の家組合/阿字ヶ浦北
浜田海の家組合/阿字ヶ浦子供会連合/市観光協会/茨城県バレーボール協会/茨城県
バレーボール連盟/IBC/国土交通省鹿島港湾・空港整備事務所/ビーサン協会/NPO法人
日本ビーチ文化振興協会※順不同
- 参 加 費：無料
- 周 辺 動 員 数：1,800人
- イベントプログラム：
 - ・ビーチ運動会
 - ・ビーチ綱引
 - ・ビーサン跳ばし
 - ・ビーチフラッグス
 - ・『IBC CUP』4人制ビーチバレーボール大会
 - ・みなと見学会
 - ・サンマ焼体験
 - ・塩たき体験
 - ・宝さがし
 - ・飲食

■ チ ラ シ :

ビーチライフふれあいフェスティバル in 阿字ヶ浦 2018

阿字ヶ浦 LOVE ビーチ

ビーチ運動会
参加者大募集中!!

ビーチ綱引
ビーチフラッグス
チームリレー
ビーチステージ
ボール投げ

入場・参加費無料

開催日 2018. 9月30日

会場 茨城県ひたちなか市 阿字ヶ浦海岸

無天候中止

9:00～16:00

MAP

主催 阿字ヶ浦・磯崎里浜づくり実行委員会

Tel. 029-265-7113



「IBC CUP」4人制ビーチバレーボール大会



ビーチフラッグス



ビーサン跳ばし



宝さがし



ビーチ運動会



ステージイベント



ステージイベント



さんま焼き

ビーチライフ啓発事業

【須磨ビーチフェスタスプリングビーチライフー 実施概要】

- 趣 旨： ○須磨海岸の豊かな自然を地域資源とする。
○ビーチスポーツなど新たな海岸利用のニーズを生み出す。
○夏の海水浴場だけでなく、四季を通じて地域住民に海岸を利用してもらうきっかけづくりを行う。
○広く市民に新たな海岸の魅力を発信する。
- 開 催 日： 2018年5月27日(日)11:00～16:00
- 天 候： 晴れ（最高気温26.7℃、最低気温18.3℃）
- 実 施 会 場： 須磨海岸（兵庫県神戸市須磨区 JR須磨駅前）
- 主 催： 須磨ビーチフェスタ2018実行委員会、神戸市
- 後 援： 国土交通省近畿地方整備局
- 協 賛： ナナ・ファーム須磨、阪神高速サービス株式会社、株式会社共栄土木、ヨマス商事株式会社、
タチバナ工業株式会社、大旺新洋株式会社、東洋建設株式会社、東亜建設工業株式会社、
五洋建設株式会社、日下部建設株式会社、株式会社川崎組、株式会社小島組、株式会社
関西港湾工業、家島建設株式会社、ヤマト工業株式会社、関門港湾建設株式会社、
大新土木株式会社、株式会社森長組、奥村組土木興業株式会社※順不同
- 参 加 費： 無料
- 周 辺 動 員 数： 18,000人
- イベントプログラム： ・家族対抗はだし運動会…42組124名
・ビーチリトミック
・ビーチバレーボールスクール
・ビーチテニス体験
・朝日&佐伯スペシャルトークショー
・U-23ビーチバレーボールトーナメント神戸大会
・潮干狩り
・白バイ展示
・グルメの祭典
・アイドルステージ

■ チ ラ シ：





家族対抗はだし運動会～ビーチサン跳ばし～



家族対抗はだし運動会～ビーチフラッグス～



家族対抗はだし運動会～ビーチ綱引き～



家族対抗はだし運動会～ビーチ綱引き～



ビーチリミック～ビーチdeJapon体操～



ビーチリミック～ビーチde太鼓～



ビーチバレーボール教室 講師：朝日健太郎



ビーチテニス

平成30年5月28日
朝刊・夕刊

神戸・朝日・毎日・読売・日経・産経
日刊工業・日本海事・その他()

ビーチフェスタ

家族連れらが
スポーツ挑戦

須磨区

遠浅になった須磨海岸(須磨区)を、海水浴以外のシーズにも楽しんでもらおうと、「須磨ビーチフェスタ2018」が27日、JR須磨駅前の同海岸で開かれた。多くの家族連れらが訪れ、砂浜でできるスポーツや遊びに挑戦。潮風香る初夏の海辺を満喫していた。

初夏の海辺を満喫



遠浅化工事が完了したのを機に、神戸市などでつくる実行委員会が昨年からの開催している。前回は3万人を超す参加者が詰め掛けたという。

海岸の特設会場には、焼きそばなど約30の飲食ブースが並んだ。晴天に恵まれたこの日は、上半身裸になり、肌を焼く男性らの姿も

旗を自括して砂浜を全力疾走する子どもたち
―須磨海岸

もらが砂を巻き上げながら全力疾走。砂まみれになりながら旗を勝ち取ると、歓声が上がった。大人の部では父母らもゲームに挑戦。砂に足を取られながら走る様子に、子どもらが声援を送った。

明石市から訪れた大久保小3年の大島翔太君(9)は「砂浜は走りにくかったけど、旗を取れてよかった。今度は泳ぎにきたい」と笑顔を見せた。父親の雅之さん(40)は「日頃の運動不足で全然走れなかった」と悔しそうに話していた。

(西竹唯大朗)



庄司憲右選手のアタックチャンス



浦田聖子選手のビーチバレーボールスクール



ビーチバレーボール須磨カップ



ビーチウッドボール須磨カップ



ビーサン跳ばし 体験・公式戦



朝日健太郎・浦田聖子スペシャルトークショー



参加者のお子さんもバーベキューを楽しみました



神戸の美しい夕日

ーテレビ放映【サンテレビニュース】ー

2018年10月28日(日曜日) 18:15 須磨・まじ 文化・スポーツ

須磨海浜公園で催し様々 神戸で初上陸マリンスポーツも



兵庫県神戸市須磨区の須磨海浜公園で、神戸初上陸のゴルフをもとにしたマリンスポーツが行われました。一見、砂浜でゴルフをしているように見えますが、ビーチ・マリンスポーツの国際大会の正式競技「ビーチ・ウッドボール」なんです。



「ビーチ・ウッドボール」は、マレットと呼ばれるクラブで木製のボールを打ってコースを回り、最も打数が少ない選手が勝ちというゲーム。

28日は毎年この時期に開催される「須磨青空元気フェスティバル」の一環で実施され、神戸で初めてビーチ・ウッドボールが行われました。

一方、こちらでは砂浜に草いすも通れるビーチマットが、障害がある人にもおしゃれを楽しんでもらおうと、ファッションショーが企画されました。

ショーのコンセプトは、障害がある人も草いすの人も「おしゃれを楽しむ」こと。

総勢55人が、それぞれの個性を生かしたファッションでビーチマットのランウェイを歩きました。「須磨青空元気フェスティバル」は来年も実施される予定で、実行委員会では様々なイベントを企画しているということです。

[ビーチ・ウッドボール](#) [マリンスポーツ](#) [須磨海浜公園](#) [須磨青空元気フェスティバル](#)

【酒田ビッグビーチフェスタ2018 実施概要】

- 趣 旨：酒田港外港地区の大浜海岸を賑わい拠点として、市民参加による砂浜でのレクリエーションやイベント、海辺での学習を通して、海浜環境を保全・維持していくための意識の醸成や、交流空間の拡大を図る。
- 開 催 日：2018年9月2日（日）10:00～15:00
- 天 候：晴れ（最高気温28.8℃、最低気温18.4℃）
- 実 施 会 場：酒田港外港地区大浜海岸（山形県酒田市）
- 主 催：「海の日」記念事業実行委員会
- 共 催：酒田港風力発電事業者協議会
- 協 力：NPO法人日本ビーチ文化振興協会、NPO法人海浜美化ボランティア、酒田青年会議所、NPO法人元気王国、NPO法人みなとまちづくり市民会議、有限会社チアーズ、山形県港湾空港建設協会、酒田商工会議所青年部、酒田地区バレーボール協会、山形県ビーチバレーボール連盟、山形県立酒田光陵高等学校、国土交通省東北地方整備局酒田港湾事務所、山形県港湾事務所※順不同

■ 入 場 料：無料

■ 周 辺 動 員 数：1,000人

■ イベントプログラム：①事前募集型イベント

- ・ビーチバレーボール大会（男子2人組、女子2人組、混合4人組）
- ・家族対抗はだし運動会

②当日参加型イベント

- ・グローバルウィンドディン酒田港
- ・シーカヤック乗船体験
- ・ビーチフラッグス
- ・ビーサン跳ばし

③その他イベント

- ・遊佐雅美の海辺の安全教室
- ・ビーチクリーン
- ・グルメ市

■ チ ラ シ :

「北前船寄港地 酒田
酒田ビッグビーチフェスタ2018」

**ビーチバレーボール大会
家族対抗はだし運動会**
参加者募集中！

**2018年
9/2
(日)**

ビーチバレーボール大会

- 参加資格 制限なし
- チーム構成 / 競技方法
グループ戦 または トーナメント戦（参加チーム数による）
◆2人制…男女別に実施 25点1セットマッチ（27点打ち切り）
◆4人制…男女各2名で構成し、最大6名までエントリー可
21点1セットマッチ（23点打ち切り）
または25点1セットマッチ（27点打ち切り）
- 参加申込 裏面申込書参照
8月27日（月）必着で事務局に提出
- 参加費 1人500円
- その他 ①全試合終了後、閉会式・表彰を行う。3位まで表彰。
②試合のない時間帯は、練習等にご協力ください。
③◆受付9:00～ ◆開始9:30 ◆第1試合10:00【予定】

家族対抗はだし運動会

- 参加資格 小学生以下のお子様と保護者 【先着50家族】
- 参加申込 裏面申込書参照
8月27日（月）必着で事務局に提出
- 内 容 家族対抗リレー、ビーチ掃引走、北前船陣書物競走の3種目
- 参加費 無料
- その他 ①全競技終了後、閉会式・表彰を行います。
3位まで表彰。参加賞もあり！
②開催時間は10時から12時30分の予定です。

その他イベント（予定）

- ・グローバルウィンドディン酒田港（風力発電施設内見学や風車キットの作成）
- ・シェットスキー、フライボード体験
- ・ビーチフラッグス、スラックライン 等



遊佐雅美の「海辺の安全教室」



家族対抗はだし運動会～おんぶ徒競走～



家族対抗はだし運動会～ビーチ綱引き～



家族対抗はだし運動会～北前船障害物競走～



ビーチバレーボール大会



ビーチフラッグス



グルメ市



グローバルウィンドデイin酒田港
(風力発電施設内見学や風車キットの作成)

2018.9.3(港)

砂にまみれ 笑顔あふれ

酒田でビッグビーチフェスタ



シーカヤック体験や家族対抗はだし運動会など、海と砂浜を楽しむ催しが行われた酒田ビッグビーチフェスタ
＝酒田市・大浜海岸

家族や友人同士で海に親しむ酒田ビッグビーチフェスタ2018が2日、酒田市の大浜海岸で開催され、シーカヤック体験

や家族対抗はだし運動会、ビーチバレーボール大会など多彩なイベントが行われた。

はだし運動会では、家族対抗リレーやビーチ綱引きのほか、北前船に見立てたそりに子どもと米袋を乗せ、砂浜を駆ける北前船障害物競走が行われた。家族で協力し、そりを引いたり、友人家族に声援を送る姿も。悠晴君(6)、瑛真君(3)と参加した山形市江南3丁目、会社員渡辺美紀子さん(45)は「昨年も参加したが、砂浜で思い切り遊べるのが楽しい」と笑みをこぼした。

フェスタは、市や国、県、酒田商工会議所、民間企業などで組織する「海の日」記念事業実行委員会が主催。グローバルウィンドデイのイベントも同時開催され、子どもたちが風力発電施設内の見学や小型風力発電装置づくりを通して、再生可能エネルギーへの理解を深めた。



東扇島東公園 開園10周年記念事業

【ビーチウッドボール体験会inかわさきの浜 実施概要】

- 趣 旨：現在のビーチスポーツは体力的に若年層を念頭に置いた競技が多く、年配の方が参加しづらい傾向がある。一方、日本では超高齢化社会の時代が到来し、健康長寿の機運が高まっており、高齢者が健康増進のために参加できるスポーツの需要が見込まれる。そういった中、アジアビーチゲームズでも正式種目として採用された『ビーチウッドボール』は、年配の方をはじめ、幅広い年代層が心地よい海辺で運動ができるという利点を持っている。今大会では川崎市唯一の海辺で、ビーチや海の関係者である一般人を対象に『ビーチウッドボール』を体験して、その楽しさや良さを感じてもらい、かわさきの浜を含む海辺の活性化とともにその認知を広め、更にビーチスポーツの振興を図ることを目的とする。尚、ビーチウッドボールは国内初の大会となる。
- 開催日：2018年4月14日（土）13:00～16:00
- 天 候：くもり（最高気温19.9℃、最低気温12.3℃）
- 実施会場：東扇島東公園人工海浜 かわさきの浜（神奈川県川崎市）
- 主催：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
- 協力：日本木球連盟
- 募集方法：NPO法人日本ビーチ文化振興協会公式ホームページにて募集
- 参加者数：36人
- チラシ：

ビーチウッドボール 体験会のご案内
2018.4.14sat 13:00start
Place.川崎市東扇島東公園 かわさきの浜



『アジアビーチゲームズ』（主催：アジアオリンピック評議会）の正式種目である「ビーチウッドボール」の体験会を開催いたします。
 来る2018.5/31に港区お台場海浜公園お台場ビーチで開催されます「ジャパンビーチゲームズ フェスティバル(JL2018)」のプログラムでありますビーチウッドボールは、これからのニュースポーツとして全国のビーチで開催して参りますので、この機会にぜひ体験してみてください。ただし、今回は日本初なので、ルールから施設において全てトライアルなので、予めご了承のほどを・・・

■ どんな格好で？
 激しい動きではないので、手軽にスポーツができる服であればOK！但し、ビーチの環境を考慮し、スニーカーを履くください。また帽子は必ず被ってください。季節病、紫外線、熱中症予防に。

■ 準備するものは？
 特にありません。熱中症にならないように飲み物、汗引きタオルをお願いします。特にシャワーを浴びる施設はありません。
 服装はこちらで用意いたします。

■ 申込みは、問い合わせ先は？『何なりと！』
 事務局 NPO法人日本ビーチ文化振興協会 吉澤・門内まで。
 TEL: 03-3552-1171 / hana@jbeach.jp (吉澤) kadouchi@jbeach.jp (門内)
 ■ 締め切り
 平成30年4月7日（土）



開会式



競技説明



大会の様子



最後のゲートにボールを通過させるのが難しい



マレットと言われるクラブで木球を打ちます

【東扇島東公園開園10周年記念イベント ビーチライフin東扇島「ちびっこはだし運動会」 実施概要】

- 趣 旨：『かわさきの浜』を子どもたちの笑顔でいっぱいにしよう！
平成30年で10周年となる東扇島東公園。おだやかな入り江で景観も素晴らしくまさに「川崎市の資源の宝庫」であります。浜、緑、広さ、景観、そして首都圏の災害発生時には内閣府が所管する防災拠点施設として、緊急輸送物資の中継拠点等の役割を担う事を再認識する良い機会でもあります。この貴重な浜を地元の子どもたちにもっと知ってもらいたい、そしてこの浜が心のオアシスとなるよう、育みたい、そのような願いから周年行事に相応しい企画をいたしました。はだしになれる環境も少なくなり、靴を脱いで遊べる貴重な浜が川崎市にあることは、おおいに活かすべきであります。はだしになることで人間回帰できる体感を堪能し、そして「また、かわさきの浜ではだしになろう！」と心に刻む機会となるよう期待いたします。愛郷心が希薄している昨今、自慢できる地元を心に持てるよう、かわさきの浜を活用し元気な青少年育成に寄与します。
- 開 催 日：2018年10月6日（土）10:00～16:00
- 天 候：くもり（最高気温29.3℃、最低気温18.2℃）
- 実 施 会 場：東扇島東公園人工海浜 かわさきの浜（神奈川県川崎市）
- 主 催：第45回川崎みなと祭り・東扇島東公園開園10周年記念イベント実行委員会
- 協 力：NPO法人日本ビーチ文化振興協会、かわさき 海のみどりの会
- 入 場 料：無料
- 周 辺 動 員 数：延べ10,000人
- イベントプログラム：ちびっこはだし運動会（参加人数：113人※子ども87人、大人26人）

<プログラム>

- ・ビーチフラッグス
- ・ビーサン跳ばし
- ・ビーチ綱引き
- ・砂袋リレー

■ チ ラ シ :

主催：第45回川崎みなと祭り・東扇島東公園開園10周年記念イベント実行委員会
協力：特定非営利活動法人 日本ビーチ文化振興協会、かわさき 海のみどりの会

東扇島東公園開園10周年記念イベント
ビーチライフin東扇島
『ちびっこはだし運動会』
2018年10/6(土)

プログラム(10:00~12:00)
(9:30受付開始)

- ビーチフラッグス
- ビーサン跳ばし
- ビーチ綱引き
- ビーチ砂袋リレー

参加費ももらえるよ!

会場：東扇島東公園 人工海浜(かわさきの浜)
(アクセスは裏面をご覧ください)

参加費：無料
募集定員：100人(応募者多数の場合は抽選)
参加資格：小学生以下のお子様
(保護者、引率者も参加可)

お申込み
裏面のFAX用申込書をご利用いただくか、申込書と同じ内容をメールでお送りください。
FAX：044-200-3981
mail:58yuuti@city.kawasaki.jp
申込締切 9月18日(火)(必着)

お問い合わせ 川崎市港湾局港湾振興部誘致振興課 TEL：044-200-3791

お申込お待ちしています!!



ちびっこはだし運動会～ビーチフラッグス～



ちびっこはだし運動会～ビーチサン跳ばし～



ちびっこはだし運動会～ビーチ綱引き～



ちびっこはだし運動会～砂袋リレー～



一生懸命頑張った姿にはだし隊長からファインプレー



優勝は赤チーム



ちびっこはだし運動会～記念撮影～



参加した子どもも大人も笑顔でした

- 10月7日発行 神奈川新聞 -

砂浜ではだしの運動会

みなと祭りサンマ振る舞いも

川崎

川崎港に親しんでもらう「川崎みなと祭り・東扇島東公園開園10周年記念イベント」が6日、川崎市川崎区東扇島の川崎マリエンと東扇島東公園周辺で始まった。



人工砂浜で「ビーチフラッグス」と呼ばれる遊びを楽しむ子どもたち
川崎市川崎区の東扇島東公園

た。夏のような日差しの下、臨海部の海にちなんだ多彩な催しが行われ、大勢の家族連れらでにぎわった。7日まで。

開園10周年の東扇島東公園では、人工の砂浜で「ち

びっこはだし運動会」を初開催。約150人の親子が砂に埋めたゴムホースを取り合う遊びなどを楽しんだ。砂遊びを教えたNPO法人「日本ビーチ文化振興協会」の吉澤裕子事務局長(55)は「貴重な砂浜を活用し、はだしの文化を広めた」と期待していた。

また、宮城県女川町から送られたサンマ約千匹の炭火焼きが振る舞われ、長い行列ができた。同町産業振興課の木村稔課長補佐(49)は「4日に水揚げされた名物のサンマを東日本大震災で支援してくれた感謝を込めて振る舞った」と話した。市と川崎商工会議所、川崎港振興協会の主催で45回目。昨年は2日間で約23万人が来場した。日本食肉流通センターでの「ちくきん

フードフェア」も同時開催されている。問い合わせは実行委員会 ☎044(287)6009。

(小野 明男)

はだし青少年育成事業



【親子でビーチスポーツレク！ 実施概要】

- 趣 旨： 多種、多目的なビーチスポーツは、競技種目としてはもちろん、レクリエーションとしてもいつでも誰でも楽しむことができるスポーツである。ビーチという、日常とは違った開放的な自然環境の中でスポーツをすることにより、スポーツを楽しむ、スポーツに関心を持ち、心身のバランスのとれた健康づくりに役立てることを目的とする。また、親子の触れ合いを目的とし、参加対象を小学生の親子に限定する。ビーチスポーツレクを通し絆を深め、仲間作りを目的とする。さらに、新福永体育館に新設されるビーチコート利用者増加へ寄与するものとなる。
- 開 催 日： 2018年10月21日(日) 10:00～12:00 ※受付9:30
- 天 候： 晴れ（最高気温21.6℃、最低気温12.8℃）
- 実 施 会 場： お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区台場1-4-1）
- 主 催： 公益財団法人杉並区スポーツ振興財団
- 協 力： NPO法人日本ビーチ文化振興協会
- 参 加 費： 一人 1,000円（就学前は無料）
- 参 加 者 数： 34人
- 対 象： 杉並区内在住・在学の小学生とその保護者
- イベントプログラム： <はだし運動会>
ビーチサン跳ばし大会、ビーチ麻袋競走、おんぶ徒競走、ビーチdeバランスボール太鼓

■ チ ラ シ :

はだしになろう、親子でビーチスポーツレク!
10/21 Sun.

はだしになって
ビーチサンダル飛ばしや
麻ふくる競争など
ビーチスポーツを親子で体験します

何年ぶりのおんぶかな? おんぶたっこも可!

日時 10月21日(日) 10時～12時 (受付 9時30分)
場所 お台場海浜公園「おだいばビーチ」(現地集合・解散)
対象 区内在住・在学の小学生とその保護者
定員 200名程度 (申込み多数の場合は抽選)
費用 一人1,000円

申込 10月8日(月)までに往復ハガキまたはWEBで
<往復ハガキ> 必要事項を記載のうえ財団まで(10月8日必着)〒住所・参加者全員の氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・お子さまの学年
<WEB申込> <https://sports-suginami.rev.jp/>
協力 NPO法人日本ビーチ文化振興協会

申込・問合せ 公益財団法人 杉並区スポーツ振興財団
〒166-0004 東京都港区有台1-14-23みなみ河原ビル4階
TEL 5305-6161 FAX 5305-6162 月～金 9:00～17:00



開会式



ビーチサン跳ばし



ビーチ麻袋競走



おんぶ徒競走



ビーチdeバランスボール太鼓



参加者と一緒に記念撮影



ビーチで健康力アップ 支援事業

【お台場ビーチバレー2018 実施概要】

- **趣 旨**：東京都港湾局の「臨海地域の賑わい創出」を目的とした社会実験がスタートし、現在では年間動員数が当時の約5倍の36,000人のビーチバレーボール愛好者、観覧者が集まる大会となった。お台場海浜公園の砂浜を活用し、ビーチバレーボールを中心としたビーチスポーツ全般の普及促進を図るとともに、都内全域、近郊のオリンピックムーブメント創生と、臨海地区の地域活性化及び観光促進となるよう取り組む。

■ **開 催 日 程**：2018年3月25日～12月16日（33大会開催 ※1大会雨天のため開催中止）

■ **実 施 会 場**：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

■ **主 催**：NPO法人日本ビーチ文化振興協会

■ **共 催**：一般財団法人日本スポーツ振興会

■ **特 別 協 賛**：アンダーアーマー



■ **協 賛**：デックス東京ビーチ、グランドニッコー東京台場



■ **後 援**：東京都、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会、東京臨海副都心グループ（株式会社東京臨海ホールディングス、東京港埠頭株式会社、株式会社東京レポートセンター）、日本ビーチバレーボール連盟、東京都ビーチバレーボール連盟

■ **会 場**：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）

■ **大 会 詳 細**：<参加費>・2人制3,000円/チーム（傷害保険含む）
・4人制6,000円/チーム（傷害保険含む）

<エントリー方法> オフィシャルホームページより事前エントリーを受付

<競技内容> 一般参加型のビーチバレーボール2人制男女・4人制男女混合大会を実施

<競技方法> ローカルルールによるラリーポイント制

<表 彰> 上位トーナメント1位、2位、3位まで表彰

■ **参 加 者 数**：5,791人

■ **周 辺 動 員 数**：43,100人



競技説明



大会の様子



大会の様子



大会入賞者



お台場ビーチバレー参加者集合写真



テレビ放映【首都圏ネットワーク (NHK)】



テレビ放映【鉄腕ダッシュ (日本テレビ)】

2018年(平成30年)11月27日(火) 享月 日 発行 (夕刊)

夕刊 駅停話 1337 ゆりかもめ 国 **お台場海浜公園**
 t.asahi.com/dugs

汗流した後の楽しみも

伊豆諸島・神津島から運ばれた砂が使われる「お台場海浜公園」の海岸。約800名の人工の砂浜はビーチスポーツの愛好家が集まる。参加者が一番多いのはビーチバレーだ。年間約30回の大会が開かれ、誰でも参加できる。夏には出場者300人以上の大会も、2人制や、男女混合でチームを組む4人制の種目がある。団体に出る強豪から初心者までレベルは様々。予選で実力をはかり、クラス分けするのでレベルに応じて楽しめる。ビーチバレーは、砂に力が吸収されて、体育館の床の半分ほどしかジャンプできない。しかし、ネットの高さが2人制はインドアバレーと同じ。風の強さから、ボールの動きを予想することも大切だ。ただ、お台場の浜は東、南側にビルが立ち、あまり強い風が吹かないそうだ。心地よい風の中でプレーできる。大会が終わった後、打ち上げに行くお店が近くにはたくさんあるのもお台場の魅力だ。日本ビーチ文化振興協会・お台場支部の中野芳孝さん(59)は「見るよりも参加する方が楽しいですよ。男女混合でプレーすると、新しい出会いがある。夫婦で出場というのもいいですよ」と笑った。(平岡妙子)

レインボーブリッジが見える海浜でビーチバレーを楽しむ人たち
 東京都港区台場

NEXT 芝浦ふ頭

ツイッター「朝日新聞・鉄道取材班」@asahi_railで全国の鉄道ニュースを発信中です。

「ビーチの日」啓発事業



【「ビーチの日」メッセージアート展2018 実施概要】

- 趣 旨：「ゆったり のんびり ビーチライフ」
島国である日本の海辺は、人間にとって大切な事を多く語り、体感できる貴重な資源。このビーチを豊かに育て、幅広く国民に活用いただけるよう様々な取り組みで啓発活動を行っており、スポーツ、健康増進、青少年育成、観光と海水浴文化からビーチ文化を育み、日本のビーチを世界に発信することの一環として、「芸術を中心としたビーチの活用」を主軸に「メッセージアート展」を企画。たくさんの方に、夢やビーチ愛を表現していただき、全国に発信しビーチの価値を向上することを目的としている。

『「ビーチの日」とは…』

当協会創立15周年という節目を迎え、“ビーチ”の更なる意識向上を目的として、「な（7）み（3）の、いい（1）日 波のいい日」の語呂と「海の日／（7月第三月曜日）」と「山の日／（8月11日）」の中間日である7月31日を「ビーチの日」として一般社団法人日本記念日協会に申請し、認定されました。

- 開 催 日：2018年7月31日（火）10:00～21:00
- 天 候：晴れ（最低気温33.8℃、最低気温24.4℃）
- 実 施 会 場：お台場海浜公園おだいばビーチ（東京都港区）
- 主 催：NPO法人日本ビーチ文化振興協会
- 共 催：一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会
- 後 援：国土交通省、観光庁、東京都港湾局、港区、東京臨海副都心グループ
- 協 賛：東洋建設株式会社、東亜建設工業株式会社、五洋建設株式会社、みらい建設工業株式会社、若築建設株式会社、りんかい日産建設株式会社、ゼンヤ海洋サービス株式会社、株式会社トマック、株式会社小島組、シバタ工業株式会社、グランドニッコー東京 台場、デックス東京ビーチ、三国屋建設株式会社、金鶴食品製菓株式会社※順不同
- 協 力：株式会社スノーピーク、一般社団法人マンガジャパン、東京コミュニケーションアート専門学校、NPO砂浜美術館
- 入 場 料：無料
- 周 辺 動 員 数：3,000人
- イベントプログラム：
 - ・メッセージアート展2018
 - ・空間演出（株式会社スノーピーク）
 - ＜ビーチナイトライフ活用＞ 18:00～21:00
 - ・ビーチ落語
 - ・ビーチの日スペシャル企画『健's BAR in ODAIBA』

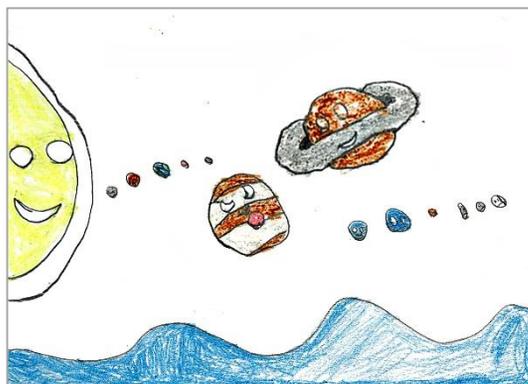
■ チ ラ シ：



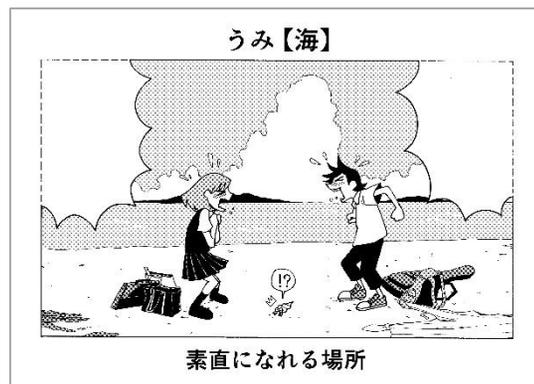
- 作品数 : 92点
- 投票数 : 105票



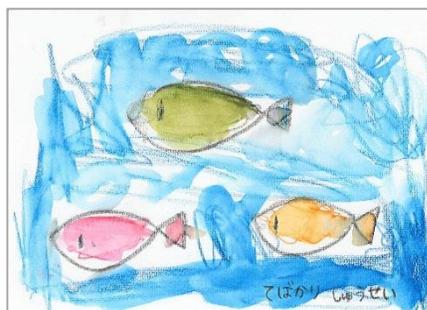
👑メッセージアート・グランプリ
「うみちゃん」
鎌田こころ 様



👑<ビーチの日>賞
「ビーチから宇宙がみえたらいいな」
村松壇 様



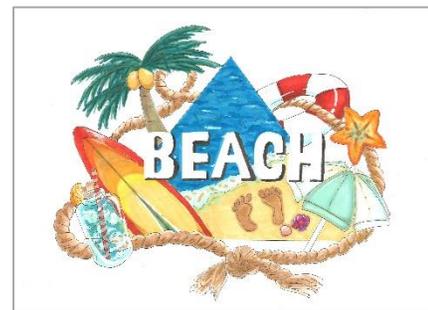
👑<ビーチの日>賞
「海とはつまり…」
海老沢春名 様



👑ひらひら賞
「海の中」
手計柊晴 様



👑ひらひら賞
「青い海とイワシ」
福地好江 様



👑ひらひら賞
「バカンス」
井上息吹 様



お台場海浜公園おだしばーち



92点の作品がおだしばーちにひらひらと展覧



多くの方がカメラを向けて記念撮影していました



空間演出（株式会社スノーピーク）



イタリア食堂 くてけ亭



ビーチナイトライフの活用



ビーチ落語



ビーチの日スペシャル企画 健's BAR in ODAIBA
トークショー

後援事業

【第13回ビーチライフin新舞子2018】

- 主 催：知多市
- 主 管：ビーチライフin新舞子実行委員会
- 開 催 日：2018年5月20日(日)
- 会 場：新舞子マリパーク(愛知県知多市)



【2018ビーチフェスタin相馬】

- 主 催：東京都、一般社団法人アスリート会議
- 開 催 日：2018年7月29日(日)
- 会 場：原釜尾浜海水浴場(福島県相馬市)
- 参加者数：259名



【富山新港開港50周年記念第3回富山湾ふれあいビーチフェスティバル】

- 主 催：富山湾ふれあいビーチフェスティバル実行委員会
- 開 催 日：2018年8月5日(日)
- 会 場：海老江海浜公園(富山県射水市)
- 動 員 数：500人



【Loveビーチin寺泊】

- 主 催：寺泊総合スポーツクラブてらスポ!
- 開 催 日：2018年8月5日(日)
- 会 場：寺泊中央海水浴場(新潟県長岡市)
- 動 員 数：350人



【貝塚二色の浜ビーチ&パークラン2018】

- 主 催：貝塚二色の浜ビーチ&パークラン実行委員会
- 開 催 日：2018年10月28日(日)
- 会 場：大阪府営貝塚二色の浜公園(大阪府貝塚市)
- 動 員 数：1000人



その他活動報告

<朝日健太郎理事長 掲載記事>

【10月20日発行 ビーチバレースタイルVol.27】

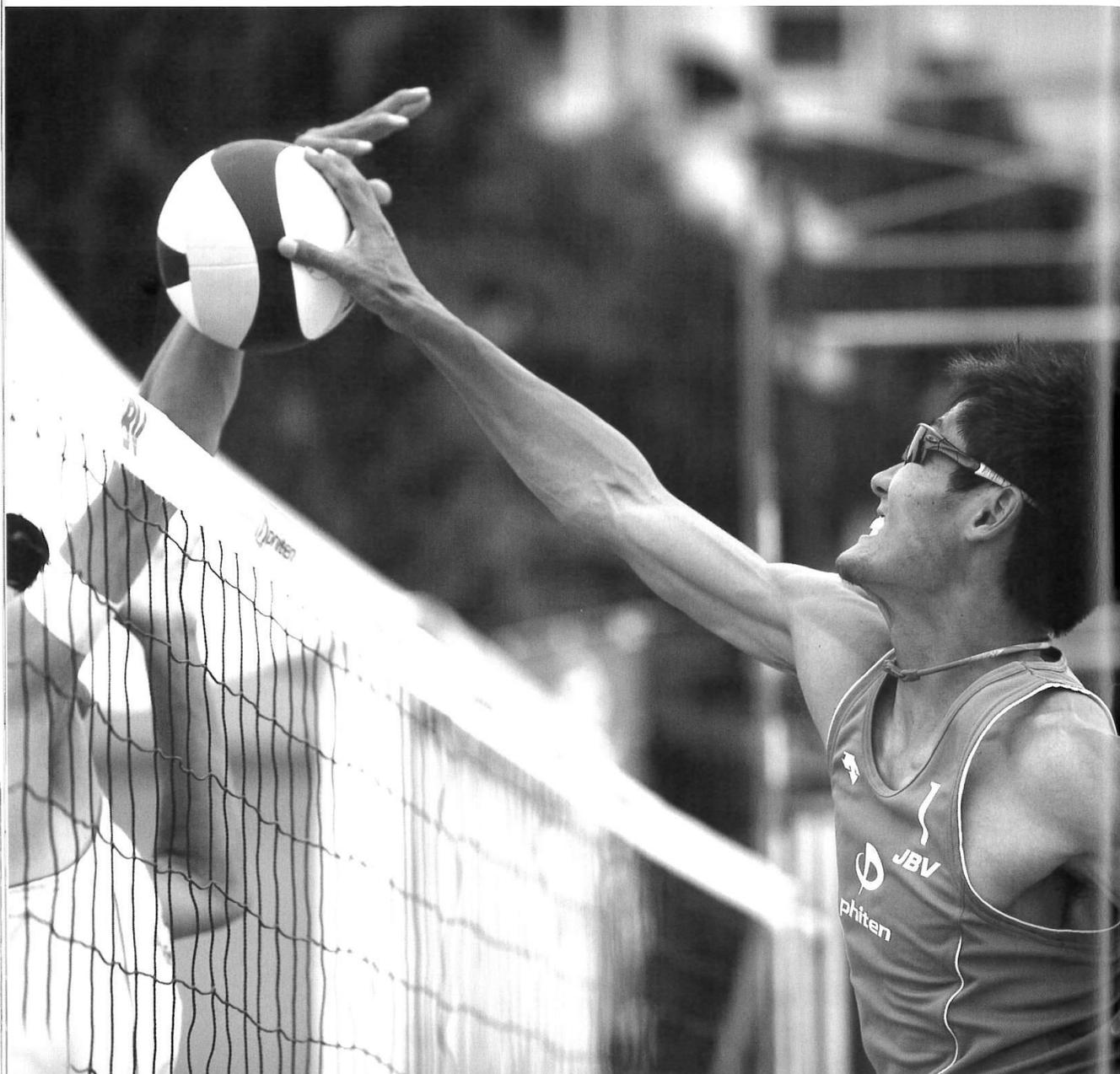
伸びなかったり、仲が悪くなったり（笑）、マイナスの状態です。別れますよ。けれども一度別れることで、その分余白ができてストレスがなくなるので、モトサヤ（元の鞘におさまる）はラク（笑）。初めてパートナーを決める時が一番しんどいので、それに比べるとモトサヤはいい感覚をなぞっていただけです。らくちんですよ。そして一つ厳しいことを言うならば、モトサヤは目指していたステージに上がれなかったから、元の鞘に収まっているだけ。元のステージにとどまって成長できなかった証とも言えるのです。

逃げ出したかった現役時代

この人とペアを組むと、こんな夢が見られるかな、楽しいかなと想像するでしょう。でも成績が出なくなると苦しくなると、負ける悔しさやうまくいかないストレスが生まれるもの。そんなストレスやプレッシャーを抱え込むくらいなら、性格的に合う人とペアを組もう、そういう考えに行く着く選手もいますね。

私自身、現役時代は駐車場から海へ向かって歩く道が「ブルー」でした（笑）。何がイヤかって自分が追い込まれている、乗り越えなければいけないんだという環境から逃げ出したかった。そりゃ、ペアを解散すれば、そこからすぐに逃げることはできました。でも、課題を直視しなければ、強くなれないことはわかっていましたから。

もし今、ペアを組むとしたら誰と組むかって？（笑）。そうですね、誰と組もうかな（笑）。白鳥と組みます。やっぱり完成している選手です。石島（雄介）や高橋（巧）と一緒にプレーしていないから、ちよっとわからないので。組むとしたら、勝ち癖がついている選手がいいですね。

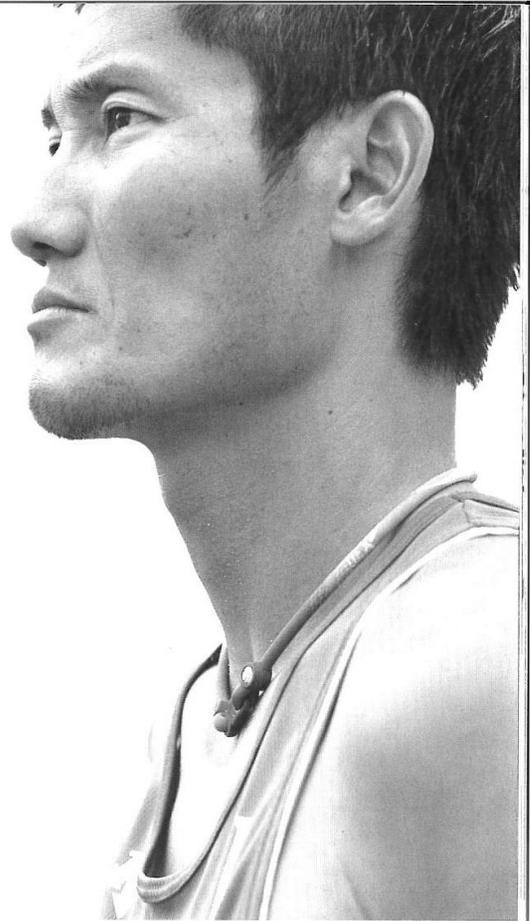


Kentaro Asahi

朝日健太郎

必要としていたのは「技」と「体」。
相手の「心」はコントロールすることはできない

PROFILE
1975年9月19日、熊本県熊本市生まれ。鎮西高、法政大卒業。
2012年に現役引退、現参議院議員。



パートナーの決め方

僕は技術的な劣等生でしたから、パートナーは必然的にチームが強くなれる、勝利に近づく選手というのが条件でした。パートナーを選ぶ条件は、経験年数によっても変わっていくものだと思います。まだ自分の特長がわからないビギナーだったら、前衛だろうが後衛だろうが、レフトだろうがライトだろうが、どちらでも経験したほうがいい。自分自身のキャリアを振り返ってみても、創世期は自分よりも経験がある人と組み、ある程度自分のスタイルが定まってきたら、パートナーの基準が生まれてきました。後半は自分を前進させ

成長のための踊り場

てくれるような、付加価値をつけてくれるパートナーがいいという感じでしたね。
現役時代が一番身長も高かったので、オフアーマーもありました。でもそこから選ぶといっても、単純に世界で勝つという道筋が見えてこない選手は話にならないですね。自分と同じ土俵にいない選手は選ぶことはないですし、国内ベスト4くらいの視野で選んでいては勝てるわけがない。アメリカやブラジルのようにトップレベルの選手層が厚ければ、幅広い選択肢がありました。それに比べて日本は少なかったです。

結果的に一番長く組んだのは、白鳥（勝浩）選手。北京五輪の後、一度ペアを別れたのですが、またロンドン五輪の前に再結成しました。北京五輪に出場した後は、次のステージに上がりたいけどなかなか成長できず、目標設定にズレが出てきましたね。チームの成長曲線を描いた時に上がっていく時期と停滞する時期がある。停滞、いわゆるその踊り場から、さらに上がるのがきついですよ。どのチームもそれを乗り越えて、一気に曲線を上げていきたいと思っている。でも、今の選手たちを見ていると、そこに行きつくまでに早々とペアを解散してしまうというケースが多いように見受けられます。しっかり段階を踏んで

上がっていかないと、チームは強くなっていきません。そう考えると僕自身、ゼロの状態でも西村（晃）さんと組み、ビーチバレーボールを少しわかってきた段階で渡辺（聡）と組み、力がついてきた状態で白鳥と組めたのはよかったですね。ステージごとにいいパートナーと出会えるのも重要と言えるでしょう。

パートナーに求めるもの

勝つためにパートナーに対して意識していたことは、ハートフルな感情はいらないうこと。必要としていたのは、「技」と「体」。「心」は唯一自分自身がアンダーコントロールできる領域で、相手の「心」はコントロールすることはできません。そして「技術」や「体」は自分でなんとかしようと思っても限界があります。だから、自分でコントロールできない、足りないところをいかに相手に頼るか。自分がコントロールできない5つの要素は、できる限りいい状態をそろえる努力をする。プロとして勝つために。あくまでもビジネスパートナーとしてとらえていたと思います。それが長くペアを組む秘訣でもあると思います。

モトサヤの捉え方

あと現役時代は、一度組んで別れる過程も経験しました。ペアを解散する時は、成績が



【パラスポーツマガジンVol.4】

—— 今現在、ビーチ・パラスポーツには、どんな競技があるのでしょうか？

実は、まだスタートしたばかりで、すでに競技として整備されているのは聴覚障がい者を対象としたデフバレーボールをビーチで行う『デフビーチバレーボール』だけだと思います。これまでに、多くのオリンピック競技が普及や発展のためにビーチへとフィールドを広げ、ビーチバレーボールやビーチサッカー、ビーチテニスなどに発展したように、パラスポーツへの関心や人気が高まる今、ようやくビーチにも目が向き始めたという段階です。

—— これからの進展に注目というわけですね。では、朝日さんは長年、日本における「ビーチの文化」創出に熱心に取り組まれています。これまでの活動内容や経緯について教えてください。

日本は長い海岸線を持ち、美しいビーチに囲まれています。でも、夏だけでなく、十分に活用されていない面もあります。そこで、ビーチから日本を元気に変えていきたいという思いから

現役引退後、「日本ビーチ文化振興協会」の理事長となり、海辺と触れ合う『はだしの文化』の推進や海辺環境美化活動などを行っています。

また、世界では海や砂浜を舞台にした競技の国際大会『ビーチ・ゲームズ』も始まっています。この大会の日本への招致活動の一環として、2014年から『ジャパンビーチゲームズフェスティバル（以下・JBG）』も主催しています。5回目となった今年も、5月3日から5日までお台場で開催。約4万人の



あさひ・けんたろう 1975年9月19日、熊本県生まれ。法政大学時代にバレーボール代表メンバーに選出され、活躍。2002年にビーチバレーボールに転向。北京、ロンドンオリンピックに出場した。2012年に現役を引退し、2014年日本ビーチ文化振興協会の理事長に就任。2016年に参議院議員となり、海辺の文化や障がい者スポーツの発展に尽力している。

来場者にビーチスポーツと触れ合い、楽しんでいただきました。—— 今年、新しい試みがあったと聞いています。

初めてパラスポーツをプログラムに盛り込んでみました。ビーチフラッグス競技を応用した「車いすビーチフラッグス」で、おそらく世界初の試みです。車いすに取り付けて引きやすくする補助装置『J-NR-K（ジョンリキ）』を使って、車いすユーザーと健常者が2人1組になって、競走しました。子どもた



INTERVIEW

ビーチ開拓者 朝日健太郎が探る ビーチ・パラの可能性

バレーボール、ビーチバレーボールの日本代表など
トップアスリートから政界に転身し、「パラスポーツの発展」を
政策のひとつに掲げる朝日健太郎参議院議員。
近年は、ビーチを舞台にしたビーチ・パラスポーツ普及の可能性を探り、
イベントに導入するなど活動を進めている。
ビーチの開拓者の視点からその理由や現状、
展望などについて話を聞いた。

文/星野恭子 text: Kyoko HOSHINO
写真/日本ビーチ文化振興協会(公式サイト: jbeach.jp)



ビーチ横のアスファルトで展開した車いすバスケットボール



「JINRIKI」を使ってビーチフラッグを実施

新しいビーチスポーツを生み
楽しむ環境を作りたい

——そもそも、パラスポーツの普及を目指そうと思われたのは、どんなきっかけからでしょうか？

現役時代からスポーツの振興には取り組んでいましたが、パラスポーツとの接点はほとんどありませんでした。

2012年頃から社会的にもパラスポーツ普及の機運が高まり、私も選手として関連のイベントに参加するようになったことがきっかけです。その後、議員としてより積極的に関わられる立場になり、「ビーチでもパラスポーツを」とようやく視野が広がってきたところです。パラボールがビーチバレーボールへと発展したように、まずは既存のパラスポーツが、どう舞台をビーチに移せるか、それを応援したいと思います。

——そのために、どんなことが必要でしょうか？

まずは、ビーチに来てもらうことです。そして、障がいの有無に関わらず、みんなが一緒にビーチで楽しめるレクリエー

ション的なスポーツの普及から進めていきたいと思っています。その先に、競技性をもったビーチ・パラスポーツへの広がりも期待しています。

——砂の上では、どうしても難しいパラスポーツもあります。

実は、既存のビーチスポーツにも、砂の上でなく、ビーチ脇に設けたコートで行うものもあるんです。たとえば、3人制バスケ、トボールのビーチ3×3（スリー・バイ・スリー）やビーチテニスなどです。これをパラスポーツに応用したのが今年のJBGで、砂の上で行った車いすビーチフラッグスの他に、ビーチ脇で車いすバスケットボールに挑戦しました。

ルール変更や障がいによるクラス分けなどを適用し、創意工夫するのはパラスポーツの基本です。ね、砂の上だから、できない」とあきらめるのではなく、どうやったら、できるかな？と考えて、新しいビーチスポーツを生み、楽しむ環境を作れたらと思います。

——他に、気づいたことや手応えは？

もう一つ、パラスポーツの特

性としてサポートする人が当たり前前に存在します。いわゆるサポートする側、される側という関係がなく、チームメイトとして必要な存在なので、やらされ感なんてありません。ビーチスポーツと一緒に楽しむことで、自然に日常生活でのサポート方法や思いやりも身につくように思いました。

高齢社会の日本では日常生活に不便を感じる人も増えていきます。パラスポーツは共に支え合う意識を自然と気づかせてくれるし、障がいのある人と交流することは未来のトレーニングでもある。今回の挑戦で、そんなことに気づけました。

——パラスポーツの新たな可能性を感じますね。今後の取り組みについては？

まずは、JBGの存在を広め、JBGに行けば、障がいのある人もビーチスポーツが楽しめる」と認知させたいですね。現在のJBGはフェスティバル的な開催ですが、いずれは公式戦化させ、いつかは国際化までできれば、目標を高く大きく持つて進めていきたいです。

ビーチ唯一の障がい者スポーツ
デフビーチバレーボールの『これから』

聴覚障がい者が取り組むデフビーチバレーボール。2017年9月、大分県大分市を拠点とし「日本デフビーチバレーボール協会」を立ち上げた。朝日氏は会長を務め、認知度向上への活動、2025年デフリンピックの日本招致を目指している。今年のJBGでも新競技として加わった。

代表理事を務める牛尾洋人氏は、「障がい者スポーツというと、襟を正して観戦するイメージが強いですが、ビーチバレーボールは障がいの有無に関わらず、エンターテインメント性の高いスポーツ。いい意味でもっと娯楽性の高さを知ってほしい」と語る。

2017年デフリンピックに出場した瀬井達也選手は、「デフスポーツは知名度が低い。国際大会を日本で開くことで、存在を知ってもらえるきっかけになる」と、デフリンピック日本招致に向けて意欲を見せている。

写真右 / 2017年デフリンピックに出場した日本代表男子チーム 左 / 「ジャパンビーチゲームズフェスティバル」の開会式にて挨拶する瀬井選手



聞こえない分、よりコミュニケーションが重要になってくるデフビーチバレーボール



障がい関係なくビーチテニスを楽しむ参加者



ビーチ横で行ったポッチャ



「ジャパンビーチゲームズフェスティバル」の参加者と

開放的でワクワクする ビーチ空間は 「意識の壁」を取り払う

あの、「ビーチって、こんなに楽しいんだ」という笑顔がうれしかった。私自身の世界観や価値観も大いに刺激されました。

「JINRIKI」はスポーツ用具ではありません。斬新な発想ですね。でも、砂浜の上で車いすを動かすのは大変そうです。

それが、思い切ってやってみたら、砂の上の不便さなんて簡単に乗り越えられたんです。きっかけは、以前から交流のあった、元車いすバスケットボール日本代表の根木慎志さんの、「僕、ビーチ大好きなんです。行ってみたい」という言葉でした。ハッとしましたね。車いすです、ビーチに行くのは難しい」と、僕たち健常者も、もしかしたら当事者の方々も思いこんでいたかもしれないな、と。これまでも、ビーチでのイベントではスロープなどハード面のバリアフリーを考慮してきましたが、本当の意味での受け入れはできていなかったように思います。いろいろな気づきがあった、とても勉強になりました。

たとえば、どんな気づきで

でしょうか？

障がいのある人と健常者がチームを組んでレースを走ってみたら、自然なカタチでコミュニケーションをとっていました。

境界線なんてすぐになくなって、ゴールしたら互いの距離がグッと近づいていたのです。ビーチという空間が、開放的で

ワクワクする空間だからかもしれません。障がい者を理解する取り組みでは障がい者の日常を体験したり、付き合い方を学んだりと教育的なスタンスが一般的ですが、心の中にある「意識の壁」を取り払い、心のバリアフリーを広めるのに、ビーチスポーツには大きな可能性があると感じました。

それに、ビーチは健常者でも歩みにくいでしょう。つまり、移動の不便さという意味では車いすの人と同じです。だから、自然に互いを思いやれるのかもしれないですね。障がいの有無に関わらず、困った人がいれば自然に手を差し伸べます。段差をなくすハード面だけがバリアフリーではない。そう、気づかされました。

<遊佐雅美副理事長 海辺安全事業>

【心肺蘇生法講習会】

- 開催日：2018年6月5日（火）
- 天候：くもり（最高気温27.6℃、最低気温16.2℃）
- 実施会場：柏崎市立田尻小学校（新潟県柏崎市）
- 参加者数：80名（PTA保護者）
- 講師：遊佐 雅美（柏崎ライフセービングクラブ）
池谷 薫（柏崎ライフセービングクラブ）
- プログラム：① 10:30～10:50 講義「プール監視の心得と役割」
② 10:50～11:10 講義「心肺蘇生法的重要性」
③ 11:10～11:45 実技（レサシアン人形を用いて、人工呼吸・心臓マッサージを行う体験）
④ 11:45～11:50 質疑応答



講習会



実技：レサシアン人形を使った心肺蘇生法

【海辺の安全講習会】

- 開催日：2018年6月29日（金）
- 天候：くもり（最高気温30.3℃、最低気温24.3℃）
- 実施会場：鳥取県立文化会館（鳥取県鳥取市）
- 参加者数：40名
- 講師：遊佐 雅美（柏崎ライフセービングクラブ）
- プログラム：講義「ライフセーバーの重要性と海辺の安全」

【海辺の安全事業(人命救助体験)】

- 開催日：2018年7月6日（金）
- 天候：曇り（最高気温23.4℃、最低気温19.5℃）
- 実施会場：中央海岸（新潟県柏崎市）
- 参加者数：80人（中学1年生）
- 講師：<講師> 遊佐 雅美（柏崎ライフセービングクラブ）
池谷 薫（柏崎ライフセービングクラブ）
<スタッフ> 今井 俊介（柏崎ライフセービングクラブ）
佐々木勝馬（柏崎ライフセービングクラブ）
伊藤 大智（柏崎ライフセービングクラブ）
- プログラム：① 9:15～9:30 準備体操・ビーチクリーン
③ 9:30～9:50 ビーチフラッグス体験
④ 9:50～11:10 ライフセービング救助体験(レスキューチューブ、ニッパーボード)



ビーチフラッグス体験



レスキューチューブを使用した救助体験

【海辺の安全事業】

- 開催日：2018年7月13日（金）
- 天候：曇り（最高気温29.4℃、最低気温23.4℃）
- 実施会場：柏崎市立剣野小学校（新潟県柏崎市）
- 参加者数：80人（小学5年生、6年生）
- 講師：遊佐 雅美（柏崎ライフセービングクラブ）
今井 俊介（柏崎ライフセービングクラブ）
- プログラム：① 9：45～10：45 講義「柏崎の海の魅力と水辺の安全について」
② 10：45～10：55 ビーチフラッグス体験
③ 10：55～11：00 着替え・移動
④ 11：00～12：00 着衣泳



講義の様子



浮いて待ての姿勢

【なぎさ体験塾】

- 開催日：2018年8月18日（土）～19日（日）
 - 天候：曇り（最高気温23.4℃、最低19.5℃）
 - 実施会場：中央海岸、番神海岸（新潟県柏崎市）
 - 参加者数：小学生47名（柏崎市5名、東村山市36名、東久留米市6名）
 - 講師：＜講師＞ 遊佐 雅美（柏崎ライフセービングクラブ）
池谷 薫（柏崎ライフセービングクラブ）
 - プログラム：＜スタッフ＞ 今井 俊介（柏崎ライフセービングクラブ）
佐々木勝馬（柏崎ライフセービングクラブ）
伊藤 大智（柏崎ライフセービングクラブ）
- ＜1日目＞
- ① 13:50 着替え
 - ② 14:10 集合・挨拶※海へ移動
 - ③ 14:30～14:40 準備体操・ビーチクリーン
 - ④ 14:40～15:15 ライフセービング救助体験(レスキューチューブ、ニッパーボード)
- ＜2日目＞
- ① 9:30 海岸集合
 - ② 9:30～10:45 ・準備体操・ランニング・ビーチクリーン・ビーチフラッグス体験
 - ③ 10:45～12:00 海洋体験(生物観察、シュノーケリング、バナナボート)※体験中は監視活動
 - ④ 12:00～13:00 昼食
 - ⑤ 13:00～15:30 海洋体験(生物観察、シュノーケリング、バナナボート)※体験中は監視活動



生物観察



記念撮影

【～酒田ビッグビーチフェスタ2018～遊佐雅美の海辺の安全教室】

- 開催 日：2018年9月2日（日）
- 天 候：晴れ（最高気温28.8℃、最低18.4℃）
- 実施 会 場：大浜海岸（山形県酒田市）
- 参加 者 数：60人（親子）
- 講 師：遊佐 雅美（NPO法人日本ビーチ文化振興協会）
- プ ロ グ ラ ム：① 10:00～10:10 海辺安全教室
② 10:10～10:20 ライフジャケット着用体験
③ 13:40～14:20 ビーチフラッグス



紙芝居、冊子を使用して子どもたちにもわかりやすく説明



保護者が装着練習をする

【第44回全日本ライフセービング選手権大会】

- 開催 日：2018年10月6日（土）～7日（日）
- 会 場：片瀬西浜海岸（神奈川県）
- 大会 結果：ビーチフラッグス女子の部 2位



【世界大会で夫婦ダブル金メダル獲得！！】

- 大会名 : ライフセービング世界選手権大会マスタースビーチフラッグス競技
- 開催日 : 2018年11月22日(木)
- 会場 : オーストラリア・アデレード



【高柳雪まつり「YOU・悠・遊」】

- 開催日 : 2019年2月24日(日)
- 天候 : 晴れ(最高気温12.2℃、最低0.5℃)
- 実施会場 : 高柳小学校(新潟県柏崎市)
- 参加者数 : 100人
- プログラム : ・第4回国際スノーフラッグス選手権大会
・スノーテニス
・スノーバレーボール 他



<遊佐雅美副理事長 掲載記事>

【8月9日発行 新潟日報】

8月9日(木)2018年

新潟日報



恵まれた環境 ぜひ利用を



本県の海辺の魅力について語る遊佐雅美さん

海岸線が長く、多くの海水浴場がある本県。海辺の活用をテーマに活動するNPO法人「日本ビーチ文化振興協会」副理事長の遊佐雅美さん(44)は、柏崎市に、本県の海辺の魅力や浜辺の活動に住民が関わる意義を語ってもらった。

(報道部・江森美奈子)

NPO・日本ビーチ文化振興協会
副理事長・遊佐雅美さん(柏崎)

冬は荒れ狂うイメージが強い日本海だが、夏は風がなければ比較的穏やか。長い海岸線と離島があるが、どこも水質が良く、それぞれの海水浴場に特色がある。海水浴やシュノーケリングなど子どもから大人までさまざまに楽しめる。ビーチバレーなど砂浜でスポーツが楽しめるのも、安全できれいな海岸だからこそだ。日和山浜では毎年、さまざまなビーチスポーツを楽しめるイベントが開かれ、県内外から多くの人を訪れる。10年以上続くが、多くの住民が関わり、運営を支えてきた。本県は全国的にも地域住民の関わりが盛んだといってもいいだろう。

県内には住民が関わって作り上げた海辺はまだまだたくさんある。だが、最近では海離れもい

れる。海の近くに暮らしながら、環境も維持されていくのではな行ったことがない子どもがいるとすれば残念だ。大人も子どもも、こんなに恵まれた環境を使わないのはもったいない。海に関心を持ち、利用することで仲間ができて、地域との絆や浜辺を守ろうとする意識が生まれる。こうして美しい海岸利用を訴えていきたい。

海や砂浜で遊ぶ際の注意点

- ★ 熱中症対策を怠らない。砂浜での足裏などのやけども注意
- ★ パラソルやテントが風で飛ばされないように気を付けよう
- ★ お酒を飲んで海に入るのは大変危険。海の中に入らず、ビーチで楽しもう
- ★ 迷子に注意。子どもが海に入るときは、体のサイズに合ったライフジャケットの着用を
- ★ たばこの吸い殻を含め、ごみは必ず持ち帰る
- ★ 海岸でバーベキューを禁止している海水浴場が多いので、事前に市役所などに確認を

※遊佐雅美さんの話を基に作成

ライフセービング世界大会

池谷さん夫婦(柏崎LSC)がV

ビーチフラッグス 3年後へ意欲も

2年に1度開かれるライフセービング世界選手権大会のマスターズ・ビーチフラッグス45〜49歳の部で柏

崎ライフセービングクラブに所属する池谷薫さん(45)と雅美さん(45)の夫婦がともに頂点に立った。世界大

会で夫婦をろって優勝するのは初めてという快挙だ。2人は3日に市役所を訪れ、桜井市長に結果を報告し、「柏崎を世界の人に知

ってもらえる結果を残すことができた」と喜びを語った。

大会は先月16日から2日まで、オーストラリアで開催された。ビーチフラッグス種目には、男女各部門に約50人が出場。薫さんは世界大会で初優勝に輝き、雅美さんは5度目の栄冠となった。

「一緒に出るなら優勝を」と意気込んで挑んだ世界大会。悪天候の影響で日程がタイトになるなど厳しい環

境でのレースだったというが、「この年になっても本気で挑戦できることはうれしい」と薫さん。レース中に右膝を負傷するアクシデントがあったが「優勝で少しでも柏崎に勇気を与えられたら」という気持ちだった」と話した。

雅美さんは全日本の同種目では22度の優勝を誇るなど輝かしい実績を持つ。世界大会への出場は8年ぶりで「緊張感もあったが、楽しんで

しむことができた」と振り返った。2021年には福井県でマスターズの世界大会が開催予定で「また二人で出場して、優勝できたら」と見据えた。

市役所で2人を迎えた桜井市長は夫婦での優勝をたたえながら「身近に大きな目標があることは大きい。2人に続く若手を育成することも大事な役目になる」と期待を込めた。



ライフセービング世界選手権大会のマスターズ・ビーチフラッグス45〜49歳の部でも優勝した池谷薫さん(右)と雅美さん夫婦(雅美さん提供)



「妻が先に優勝を決めていたので気がしやなかつた」と、桜井市長(左)に優勝の経過を報告する薫さん(中央)、その様子を守る雅美さん(柏崎市役所で)

ライフセービング世界
池谷夫妻 市長に報告 柏崎
オーストラリアであ
った「ライフセービ
グ世界選手権」マス
ターズ・ビーチフラ
ッグし、3日、桜井雅浩市長

長に報告した。「いくつになっても金メダルは夢じゃないと子供たちに示せた」。薫さんは初、雅美さんは5回目の優勝で、笑顔を輝かせた。
池谷夫妻はともに45歳で「柏崎ライフセービングクラブ」所属。夏の海水浴場やプールでの監視活動、救命講習会に携わりながら、地元の子供たちにビーチフラッグスの楽しさを教える活動に取り組んでいる。
ビーチフラッグスは、砂地を15分走って旗(ホース)を奪い合う競技。最初に優勝を決めた雅美さんは、大柄で筋骨隆々たる外国人選手たちと競い合う薫さんを祈るような気持ちで見守ったという。
薫さんは左膝を負傷しつつも期待に応えて優勝。「2人で優勝する約束が果たせてうれしい。今後も人命救助に力を尽くしたい」と話した。水球優勝に続く明るい話題に、桜井市長は「夫妻で優勝なんて奇跡的だ」と祝福した。【内藤陽】

豪・ライフセービング選手権
柏崎の夫婦 世界一
市長に報告「レース楽しめた」



柏崎市の桜井雅浩市長に優勝を報告する池谷薫さん(中央)と雅美さん夫妻(柏崎市役所)

柏崎ライフセービングクラブ所属の池谷薫選手(45)と雅美選手(45)夫妻が、オーストラリアで開かれた「ライフセービング世界選手権大会2018」のマスターズ・ビーチフラッグス(45〜49歳の部)に出場、

男女の部でそれぞれ、夫婦そろって優勝する快挙を成し遂げた。池谷夫妻は、柏崎市役所で桜井雅浩市長に優勝を報告した。
柏崎地域の海水浴場やプールで監視活動や救助を行っている池谷さん夫妻は、

大会中に足はげがを負ったが、テーピングをして試合に臨んだ。「試合中は不思議だが痛みはなかった。金メダルはうれしい。同じ年齢の人が頑張っていて、魂に火を付けられた」と喜びを語った。
国際レースは8年ぶりだったという雅美さんは「海外選手と緊張感あるレースを楽しめた。柏崎ライフセービングクラブとして出場したので、柏崎という地域を世界に知ってもらえる機会にもなった」と話した。
桜井市長は2人に対し、「柏崎で後輩の育成もお願いしたい」と期待した。

11月16日〜12月2日に行われた大会に出場した。
45〜49歳の部にはオーストラリア、米国、ニュージーランドなどから男女それぞれ約50人が出場した。
ライフセービングは水難救助の場面を想定した競技だ。ビーチフラッグスは、旗に見立てたホースを目標として15分の砂浜を走る。
日本ライフセービング協会(東京)は、日本勢が世界大会で夫婦そろって優勝した事例は「おそらくないと思う」としている。
夫妻は3日、同市役所を訪れ、報告した。薫さんは

<NPO法人日本ビーチ文化振興協会 掲載記事>

【6月30日発行 季刊誌「波となぎさ」】

特集 1

ジャパンビーチゲームズフェスティバル (JBGF) 2018

日本ビーチ文化振興協会

はじめに

5月3日(木)～5月5日(土)の祝日の3日間、東京都港区お台場海浜公園おだいばビーチにて『ジャパンビーチゲームズフェスティバル (JBGF) 2018』を開催致しました。

JBGFは、各ビーチスポーツの競技団体とのネットワークを広げ、ビーチと海域を使用するスポーツの国際大会「アジアビーチゲームズ」(アジアオリンピック評議会 (OCA) 主催)の日本誘致とともに、日本のビーチ

の価値観の向上とビーチ・マリンスポーツの普及を目的としています。さらに、2019年にアメリカ・サンディエゴで開催が決まった「ワールドビーチゲームズ」(国内オリンピック委員会連合 (ANOC) 主催)の日本誘致へと目線を広げております。

今年のJBGFは、例年参加いただいている競技団体に加え、新たに日本木球連盟、一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会、日本財団パラリンピックサポートセンターに参加頂き、計15団体の協力のもと開催

致しました。

3つの大会のコンセプト

JBGFは以下の3つのコンセプトを掲げています。

- ① ビーチ資源の最大化を目指して、ビーチ・マリンスポーツ競技を活かす。
- ② 「心のバリアフリー」の形成を目指し、誰もが友達になるため、幼児から大人まで、様々なパラスポーツを体験し楽しむ。



③ ビーチスポーツ総合国際大会招致に向けての取り組みを全国に発信する。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、今、スポーツは大きな注目を浴びており、その意義について様々な議論が行われています。その一つの重要な視点に挙げられているのが、今大会からJBGFで初めて取り組んだ「心のバリアフリー」の形成です。

心のバリアフリーの形成とは、誰もが素敵に輝ける社会での心のあり方です。バリアフリー施設というハード整備だけではなく、それを包含するような大きな概念です。また、体にハンディキャップがある方と健常者というだけでなく、例えば、高齢により体力の壁や寂しさを感じたり、閉鎖的な気持ちになったりする人など、『心のバリアフリー』は現代社会が抱える大きな問題を対象とした考え方です。

潮風や波の音など、誰もが心地よいと感じることができる『海／ビーチ』では、人はより心がオープンな状態となり、人にやさしく接することができる空間です。つまり『海／ビーチ』は心のバリアフリーを作る最適な場所であり、JBGFを通じて様々な人が『海／ビーチ』に足を運ぶことで、社会全体のバリアフリーが実現できると考えています。

新しいチャレンジとニュースポーツ

今年のJBGFは3つのコンセプトの基、様々な方にビーチスポーツを体験していただき、ビーチのメリットである“はだし”で感じる自然のリアル



車いすビーチフラッグス



ビーチウッドボール

感と気持ちの開放感を実感していただくことに注力し、プログラムを入念に組みました。

開会式では、ビーチゲームズ招致プロジェクトナビゲーターである当協会理事長 朝日健太郎(元ビーチバレーボール日本代表、北京・ロンドン五輪出場)と浅尾美和氏が登壇し、開会宣言を行いました。さらに、各

競技団体の代表者が登壇する中、JBGF初参加のデフビーチバレーボールの選手が手話でのあいさつを行いました。会場からは手話による拍手(両手をひらひらさせる動き)も行われ、『心のバリアフリー』が広がる一幕となりました。

世界初の新たな競技の試みとして、災害時等にリアカーのように車い



スラックライン



雪合戦を楽しむ外国人

すを引っ張り、避難場所等に誘導する器具(メーカー:JINRIKI)を用いて、健常者がフラッグを目指して車いすを引っ張り、車いすの方がフラッグを取る「車いすビーチフラッグス」を開催しました。初挑戦となる種目であり不安もありましたが、引き役と車いす役の連携が要求される白熱したレース展開となり、トライした人々の素晴らしい笑顔と観客の歓声に溢れ、会場が一体となる空気感が生ま

れました。

また、今年初めて行ったビーチウッドボールは、アジアビーチゲームズの正式種目であり、老若男女問わずプレーすることができる新しいビーチスポーツです。ビーチウッドボール会場では、距離の違う3つのコースが用意され、スコアを競う形で体験会と大会が行われ、自然の隆起があるビーチ特有のコースがゲームをさらに面白くさせる結果となりました。

さらに、各種競技の代表選手が一同に集まり、「ビーチフラッグス」と「ビーチサン跳ばし」を競う『オールスター選手権大会』では、競技者自身が別のビーチスポーツに参加することで、観客に素晴らしいパフォーマンスを楽しませていました。笑いあり感動ありのひと時となり、これもまた、ビーチの開放感がなせる場面となりました。

去年に比べ来場者も多く、多くの方が各競技を体験し、ビーチの魅力を存分に感じていただきました。会場では、観光客も含む外国人の来場も多かった(全体の4割程度)のも今年の特徴であり、ビーチスポーツ体験を楽しむ外国人観光客もおられました。世界を見渡すと、外国人のビーチに対する価値観は、はるかに日本人より高いと思われます。急増するインバウンドに対して満足度を上げる観点からも、ビーチ資源の最大化をコンセプトとしたJBGFは更なる可能性を秘めており、今後の外国人の受け入れも含めた運営対策を再検討する必要性を感じる大会となりました。

今後の活動

昨年度、当協会は創立15周年を迎えました。今後も協会の理念である『海辺の文化の創造と振興』を掲げた活動を継続しつつ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、老若男女どのような方でも心が開ける場所として『海/ビーチ』が更に注目を浴び、『心のバリアフリー』が多くの人に認知されることが重要だと考えております。

今後は、ビーチスポーツを中心とし

ジャパンビーチゲームズフェスティバル(JBGF)2018

様々なイベントが全国各地の海辺で開催され、正式な選手権大会が行なわれる場所として定着させていく必要があります。また、スポーツという切り口のみならず、持続可能性のある新しい海辺の文化の創造が重要です。外国人観光客の方も含め、行ってみたい、心地が良い、そしてまた行きたいと思うような「いろいろな方が楽しめるビーチ空間」を作り出したいと考えています。

現在、多くの海水浴場が閉鎖に追い込まれています。インバウンド

対応も求められる中、日本全国に存在するビーチ資源を再生する必要があり、環境整備や活動に対する日本政府の支援が不可欠ではないでしょうか。

おわりに

ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018では、お台場という一つの空間で様々なビーチスポーツ大会が並行して開催され、各競技団体にとっても良い刺激を与え合った一方、

大会全体の協調性も高まった結果となりました。

会場となったお台場海浜公園近くの企業・団体に加え、近隣住民の方々、共催となっていた一般財団法人みなと総合研究財団など様々な方々のご協力のもと、『ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018』が無事開催でき、ビーチは素晴らしい環境であることを改めて実感した大会となったことに感謝申し上げます。



NPO法人日本ビーチ文化振興協会 2018年事業 予定表

タイトル	日程	会場	動員見込み数
ビーチウッドボール大会inかわさきの浜	4月14日	かわさきの浜(神奈川県川崎市)	100人
ジャパンビーチゲームズ@フェスティバル2018	5月3日~5日	お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区)	30,000人
須磨ビーチフェスタ2018 スプリング	5月27日	須磨海岸(神戸市須磨区)	18,000人
第12回ビーチライフin新潟	7月29日	日和山浜海水浴場(新潟県新潟市)	3,000人
Beach of day in ODAIBA 2018「メッセージアート展2018」	7月31日	お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区)	3,000人
酒田ビックビーチフェスタ2018	9月2日	大浜海岸(山形県酒田市)	2,000人
第6回ビーチライフin柏崎	9月(予定)	みなとまち海浜公園(新潟県柏崎市)	500人
ビーチライフふれあいフェスティバル阿字ヶ浦2018	9月(予定)	阿字ヶ浦海水浴場(茨城県ひたちなか市)	2,000人
ビーチライフin東扇島~川崎みなと祭り2018~	10月6日	川崎マリエン周辺・東公園	10,000人
須磨ビーチフェスタ2018 オータム(仮称)	10月(予定)	須磨海岸(神戸市須磨区)	15,000人
ペイサイドビーチ坂スポーツフェスティバル	10月(予定)	広島県坂町	1,000人
お台場ビーチパレー	3月3日~12月16日(全32回)	お台場海浜公園おだいばビーチ(東京都港区)	延べ36,000人
健'sBAR	年間2~4回	プロント茅場町	延べ300人

注)杉並区運動会、別府市、岩国市、検討中。

※6/5現在

【10月1日発行 ピンズタイム】

PINS
FACTORY®
FOR YOUR BEST MESSAGE

PINS FACTORY(ピンズファクトリー)は、オリジナルデザインのPINS(ピンバッジ)を受注製作する専門メーカーです。

PINS
TIMES

第9号 10月1日(月)
2018年(平成30年)

発行所:
株式会社デザインアンドデベロップメント
〒108-0073 東京都港区三田4-15-35 7F

tel. 03-5441-7417
fax. 03-5441-7428 info@pins.co.jp
http://www.pins.co.jp

クロスアップ・ピンズワールド

CLOSE UP PINS WORLD

新しいビーチ文化の創造に向けて 活動を象徴する「記念日」をピンズでPR

NPO 法人 日本ビーチ文化振興協会 様
一年を通じて人々が集い、ふれあい、楽しめる「海辺の広場」を創造

～「731」ビーチの日ピンズ～



材質 銅合金
工法 エッチング+プリント
著色 ソフトエナメル+特色
メッキ 金
サイズ 22mm

楽しさと憩いの場としての
ビーチの魅力を演出

731を「ナミのイイ日」と語呂を合わせ、7月31日は「ビーチの日」。日本ビーチ文化振興協会様が設立15周年を迎えたことを機に制定されました。

日本ビーチ文化振興協会様は、「一年を通じて人々が集い、ふれあい、楽しめる『海辺の広場』を創造」という理念のもと、人と海辺のかかわりを深め、地域の活性化につながるさまざまな企画やイベントを開催されています。ビーチスポーツ大会の実施をはじめ、はだしによる健康づくりの提唱、海辺の環境美化・保全活動ほか、活動は多岐にわたります。

最高に楽しいビーチを体験しよう!をキャッチフレーズに5月に開催されたのが、「JAPAN BEACH GAMES Festival (ジャパンビーチゲームズ フェスティバル)」です。



ジャパンビーチゲームズフェスティバル 2018

ビーチスポーツを体験することで魅力を知っていただくためのイベントで、ビーチバレーボールやビーチフラッグスなど10数種類の体験プログラムを実施。中にはビーチ雪合戦や、ビーチサン(ビーチサンダル)跳ばしなどもあり、ビーチスポーツの楽しさの幅広さが感じられます。

2018年は「心のバリアフリー」をテーマの一つとして、車いすでの移動が困難なビーチに車いすバスケットの選手などハンディキャップのある方にもご来場いただき、だれもが楽しめるビーチに向けた新しい試みにも取り組まれました。

記念日である7月31日のビーチの日には、一般公募で寄せられた海の思い出などのイラストや写真をTシャツにプリントして展示する「メッセージアート展」を開催。夕方からはトークショー、ビーチ落語、ビーチBarなどにより、憩いの場としてのビーチが演出されました。

おおらかさとメッセージ性を
そなえた PR 用のピンズ

ビーチの日は、日本ビーチ文化振興協会様が創造する「新しい海辺の文化」への意識を高め、広く浸



ビーチの日メッセージアート展 2018

透させるための象徴になりそうです。

その大切な日にちなんで製作されたのが、「731」ビーチの日ピンズです。

完成品は、波の青と砂浜をイメージした、おおらかでシンプルなデザイン。ひと目で意味が伝わるメッセージ性と、金メッキ仕上げによる上質さを兼ねそなえました。PRツールとして、協会の賛助会員や行政・地方自治体、マスコミなど関係者の方々に配布されています。

受け取った方からの評判も上々で、皆さん喜んで身につけてくださるとのこと。イベント会場では、集まった大勢の人たちの中でもひととき目を引く存在感を発揮しているそうです。

「毎年のビーチの日が楽しい日として固定化され、やがては海岸線を一本の線で繋がるよう、全国の海辺を持つ地域が何かしらビーチに関わる日となるように推進していきたいと思っています」とおっしゃる日本ビーチ文化振興協会様の活動を、ピンズがしっかり後押ししています。



親子で体験ビーチバレー

Business Comment

ピンズファクトリー
営業担当: 渡辺

「エッチング工法」と「プリント工法」の組み合わせにより、うまくデザインを再現する事が出来たのではと思います。今後も「ビーチの日」のPRにご活用いただけたら幸いです。

【11月25日発行 雑誌「港湾」】

「日本遺産『北前船寄港地 酒田』酒田ビッグビーチフェスタ2018」大浜海岸で開催

●2018/9/2 酒田市地域創生部商工港湾課

9月2日(日)に酒田港大浜海岸で「酒田ビッグビーチフェスタ2018」が開催されました。

酒田ビッグビーチフェスタは、国土交通省、山形県、酒田市、関係団体等で組織する「海の日」記念事業実



ビーチバレーボール大会

行委員会が3年前から実施しており、今年は北前船の西廻り航路を開拓した河村瑞賢生誕400年を記念しての開催となりました。

当日はビーチバレーボール大会や、家族対抗はだし運動会のほか、シーカ



家族対抗はだし運動会

ヤックやスラックラインの体験などのメニューも実施され、家族や友人同士でビーチでの遊びを満喫しました。

また、酒田港風力発電事業者協議会が、風力発電施設見学会やペットボトル風車工作体験を実施し、参加者は風車の仕組みを学びました。

最後に、いつでもはだしで走り回れるビーチになるように、参加者及び関係者でビーチクリーンを行いました。当日イベントを通して、参加者が思い思いに海の楽しみ方を学ぶ一日となりました。

「仙台港体験・視察セミナー」を開催

●2018/9/11 仙台国際貿易港整備利用促進協議会

9月11日(火)、仙台塩釜港(仙台区)において、宮城県・仙台市・仙台商工会議所など官民で組織する仙台国際貿易港整備利用促進協議会は「仙台港体験・視察セミナー」を開催しました。

当日は、宮城県内のほか、岩手県・山形県・福島県・首都圏の荷主企業及び物流関係企業から約70名の方にご参加いただきました。

セミナーでは、会場の「夢メッセみやぎ」で主催者挨拶と仙台塩釜港

の概要説明後、バスで仙台塩釜港の現地視察を行いました。

フェリーやクルーズ船、自動車運搬船のほか、高砂コンテナターミナルでは管理棟屋上から全景をご覧いただき、また岸壁では荷役作業のデモンストレーション、コンテナの展示を行いました。

最後に、横浜税関仙台塩釜税関支署様及び塩釜港運株式会社様から、仙台塩釜港の貿易概況や通関実務についてご講演いただきました。



高砂コンテナターミナル管理棟屋上



荷役作業デモンストレーション

第10回「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」&レイラインイベント

「FeelL」が開催されました ●2018/9/23 国土交通省関東地方整備局千葉港湾事務所

9月23日(日)、木更津市内の内港公園(出島)や鳥居崎公園にて第10回「KISARAZU PARK BAY FESTIVAL」&レイラインイベント「FeelL」が開催され、12,000人の方が来場されました。

関東地方整備局千葉港湾事務所では、清掃兼油回収船「べいくりん」の体験乗船と「べいくりん」の活動内容を紹介したパネルや「べいくりん」の模型を展示しました。

船内見学では、操舵室で船について熱心に聞き入る様子や、大きなスキッパー(ゴミ回収装置)が動く姿を見て驚く様子などが見られました。展示ブースでは浮遊ゴミの回収方法について模型を動かして説明しました。べいくりんが活動する範囲や過去に回収さ

れたゴミの例、台風による大雨後に回収した流木や回収実績などをパネルで説明し、海洋環境整備事業についてご理解いただきました。当日は、千葉日報のママ記者が取材に訪れ、「べいくりん」の活動内容について熱心にメモを取っていました。



関東地方整備局のブースの様子



船内見学の様子



取材を行う千葉日報のママ記者

特別対談
大塚眞郎 × 朝日健太郎

「上野五輪」の開催地をめぐり、大塚眞郎と朝日健太郎の対談が、日本と海外の両方から注目を集めている。この対談は、大塚眞郎の著書『大塚眞郎の日本文化論』をきっかけに実現した。大塚は、日本文化の魅力を海外に伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。朝日は、日本文化の魅力を海外に伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

東京五輪の真のレガシー 変わる。

将来を考えると、地球にやさしい五輪を目指していく必要がある。朝日健太郎



「1964年東京五輪」以来、2020年の東京五輪まで、19回のオリンピックが開催されてきた。その中で、最も注目されているのは、2020年の東京五輪である。朝日健太郎は、東京五輪の真のレガシーは、地球にやさしい五輪を目指すことにあると述べている。

文化新聞 はだし

つがを押さえて読むほどハマる!

No.10 2018年7月10日

INDEX

1 特別対談 大塚眞郎 × 朝日健太郎

2 大塚眞郎の日本文化論

3 大塚眞郎の日本文化論

4 大塚眞郎の日本文化論

5 大塚眞郎の日本文化論

6 大塚眞郎の日本文化論

7 大塚眞郎の日本文化論

8 大塚眞郎の日本文化論

9 大塚眞郎の日本文化論

10 大塚眞郎の日本文化論

大塚眞郎

「はだし」の編集長。大塚眞郎は、日本文化の魅力を海外に伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

大塚眞郎の日本文化論

大塚眞郎は、日本文化の魅力を海外に伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

大杉徹

ビーチアスリートインタビュー

大杉徹は、ビーチアスリートとして活躍している。彼は、ビーチスポーツの魅力を海外に伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。



ROOTS OF BEACH SPORTS GEAR

ビーチスポーツギアのルーツ

ゴルフやテニスに由来したビーチウエアー。そのルーツをたどると、ゴルフやテニスの歴史まで遡ることができる。

ビーチゲームス

日本だけでなく、海外でも人気なビーチゲームス。そのルーツをたどると、ビーチスポーツの歴史まで遡ることができる。

New Sports Power 0

（ビーチで生まれた新競技）

サップヨガ SUP YOGA

水面を渡る風を五感で感じて楽しんでほしい

おらが街のビーチ自慢

ここはいいところ、一度はおいで〜

茨城県ひたちなか市

JAPAN BEACH GAMES Festival 2018

誰もが友達になれるビーチで、ビーチスポーツ14競技を体験!

ビーチ

ビーチの魅力を伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

茨城屈指の人気ビーチが迷える街

茨城県の魅力を伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

サハラ砂漠

アフリカ大陸北部

砂ソムリエ

海鮮丼

新鮮な魚介を使った海鮮丼。その魅力を伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

茨城県ひたちなか市

茨城県の魅力を伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

砂ソムリエ

アフリカ大陸北部

砂ソムリエの魅力を伝えるべく、海外で講演や執筆活動を行っている。

ツボを押さえて読むほどハマる!

文化新聞 はだし

ふむふむ

No.10 2018 7/10

2018年7月10日発行 通巻 第10号
発行/NPO法人日本ビーチ文化振興協会
編集人/朝日健太郎
〒104-0033 東京都中央区新富1-7-1 リバーサイド茅場町3階
電話 03-3552-1171
編集スタッフ/百田亜衣 (BeachvolleyballStyle)
デザイン/島内崇弘デザイン室

INDEX

- 1面 特別対談:大塚眞一郎×朝日健太郎
日本が変わる。東京五輪の真のレガシー
- 2-3面 特集:ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018
誰もがが楽しめるビーチで
ビーチスポーツ14競技を体験!
連載:朝日健太郎が目指す砂ソムリエ
連載:New Sports Power
連載:おらが浜のビーチ自慢
連載:ビーチアスリートを進め
新連載:ビーチスポーツギアのルーツ
連載:ビーチゲームズを日本で!
- 4面 編集後記:はだしの足跡

特別対談

大塚眞一郎×朝日健太郎

いよいよ東京五輪・パラリンピック開催まで2年。スポーツをきっかけに、ハード面の改良が進み、意識改革も起き始めている。五輪がもたらす真のレガシーについて、日本トライアスロン連合専務理事、日本オリンピック委員会理事を務める大塚眞一郎氏と朝日健太郎理事長が意見交換を行った。

日本が変わる。東京五輪の真のレガシー

将来を考えて地球にやさしい五輪を目指していく必要がある

朝日健太郎

Kentaro Asahi



※「1億総スポーツ社会」2020年の東京五輪・パラリンピック開催をきっかけにしてスポーツ人口を拡大するスポーツ庁の施策

トップの選手が観戦エリアにくる時は、映画「パイルーズ・オブ・カリビアン」の挿入歌を流します。毎回同じ音楽を流すことで、条件反射のよう観客が盛り上がるという仕掛けを行っています。

大塚眞一郎

Shinichiro Otsuka

挑戦するマインドを掘り起こすことがレガシーにつながる

朝日 先日、横浜みなとみらいで開催されたトライアスロンの国際大会を視察しに行きました。スタートからゴールまで2時間ほどある中で、選手たちがくると待つ時間がある。この待つ時間が重要ですね。緊張と緩和が波のように襲ってくる感覚で、待っている時間もリラックスできるし、長い時間でも飽きません。また、数ある競技団体の中で日本トリアスロン連合は、健常者と障がい者を分けず、一緒に練習しているのが、この組織で運営や管理を行っているのです。

大塚 ハード面でもソフト面のレガシーとして期待したいのは、朝日理事長のように現役に引退した後にもその経験を社会にどう貢献していくか。28競技プラス5競技において五輪に出られる選手は一握りですが、挑戦する選手はたくさん存在します。五輪には出場できなかったけれど、挑戦した経験をどのように社会で活かしていくか。選手の皆さんが競技を終えた後に伝えていくことが、勇気を生み出すことにつながるのではないのでしょうか。

朝日 スポーツ人材の活用が日本でフューカスされていない日本にとって、大きな強みとなりそうです。競技中から次のキャリアアップを視野に入れ、若い時にキャリアアップを志すことは有効だと思います。まさにこれもキャリアのトランジションと言えますね。

大塚 トライアスロンでは、認定記録会という記録を出せば、誰でも強化選手になります。元マラソン選手や元水泳選手、もちろん一般の方でも、チャンスはある。進んで競技から転向する選手も多く、「挑戦して良かったです」という声も聞いています。そこから五輪の道を切り開いた選手もいます。挑戦するマインドを掘り起こしていくことが、今スポーツ庁が掲げている「1億総スポーツ社会」のレガシーとして残っていくと思います。

朝日 東京五輪のトリアスロンの会場は、ジャパルビーチゲームズの会場で使用しているお台場です。今回の対談では「五輪のレガシー」というテーマでお話を伺おうと思います。

大塚 お台場は、海辺に面しているアーバン地域で、レインボーブリッジもあり、東京タワーや東京スカイツリーも展望できるので、五輪のショーケースになるような競技を目指しています。

朝日 トライアスロンは、ビーチやパンスポーツに適している競技ではないですね。コースも一般道を利用できますし、スポーツと街がうまく共存し一体化できる競技としても注目されています。ビーチバレーボールは、ビーチの潮風公園で開催されます。ビーチバレーボールは、ビーチの開放感ある空間、ロケーションと音楽、世界のトップ選手のプレイが三位一体となって複合的な楽しさが合わさったエンターテイメント性の高い競技。五輪をきっかけにしてこの世界観をたくさんの方々に知ってほしい

大塚 五輪という舞台は、ファンエンゲージメントを作りやすい大会です。楽しい空間だからこそ人が集まり、新しいお客さんも増えて興味を持つともう接点のマッチングの場所としては、これ以上のものはありません。我々もビーチバレーボールと同じように、エンターテイメント性を心がけています。選手たちはコースを周回し、その姿を大型ビジョンで追うことができます。

New Sports Power ⑧

〈ビーチで生まれた新競技〉

文/小嶋仁久

サップヨガ
SUP YOGA

水面を渡る風を五感で触れて楽しんでほしい



上:協会公認インストラクター・来夏さんのレッスン
下:日本サップヨガ協会理事長を務める田中律子氏



スタンアップパドルボード
デイング(SUP)とは、浮力
の高いボードに乗り、パドルで
漕ぐハイ発祥のスポーツ。その
ボードを海や湖、プールに浮か
べ、その上でヨガを行うのがS
UPヨガだ。

今世紀に入りSUPの人気
が上がるのに合わせ、レクリエ
ションとフィットネスの融合形で
あるSUPヨガも、全世界へ爆
発的に広がった。日本にも輸入さ
れるとスタイリッシュさも受け、
すぐに女性の心を掴んでいる。
日本サップヨガ協会の田中律
子理事長はその魅力を「体が幹
が鍛えられますし、心が解放され
て、楽しいのは間違いありません
と語る。



平磯海岸では、気軽に磯遊びが楽しめる



海鮮丼
全国でも豊富な漁獲高を誇
るひたちなか。ここにはたらせひ
味わってほしいのは、那珂湊で水
揚げされた魚介類をふんだんに
盛りつけた海鮮丼です。鮮度抜群
の海の幸を一度に堪能すること
ができます。海鮮の名所といわれ
る「那珂湊おさかな市場」では、旬
の魚を気軽に買い物でき、隣接
のレストランで海鮮丼を味わえ
ます。

おらが街の味自慢

茨城屈指の
人気ビーチが連なる街



子どもたちの人気を集めたスタンクアウト「くじのちやん」

茨城 城県中央部に位置する工
業と水産業が発展した街
です。約13kmにわたる海岸線に
は、阿字ヶ浦海水浴場、平磯海
水浴場、娘の懐マリンプールな
ど、人気のビーチが連なります。
阿字ヶ浦海水浴場は、国営ひ
たち海浜公園や大型商業施設
が隣接し、大観光エリアになっ
ています。平磯の海に浮かぶく

茨城県・ひたちなか市

おらが街の
ビーチ自慢

～ここはいいトコ、一度はおいで～



地域DATA
人口 ● 約160,000人
代表ビーチ ● 阿字ヶ浦海水浴場、
平磯海水浴場、娘の懐マリンプール
観光名所 ● 国営ひたち海浜公園、那珂湊おさかな市場
名産 ● ほしほし、あんこう、タコ
宿泊施設 ● ホテル、旅館、民宿を中心に50超の施設



子どもたちの人気を集めたスタンクアウト

【参加団体の声】
一般社団法人日本フライング
ディスク協会は5月3日(祝)
木、朝10時から15時まで体験
会を行った。子どもから大人ま
でおよそ60名が参加。午前中
は天候の影響を受けましたが、
午後からは人が流れ、参加者が
増えてきて、子どもたちはスト
ラックアウトに夢中でした。大
人の方はキャッチアンドスロー
に興味を持たれた方が多いと
感じました。今後、もっと集客
を増やすためにデモンストレー
ションの時間を設けてアナウン
スしていただくなど工夫して
いったほうがよいという課題も
残りました。今後、活かせるよ
うにしたいと思えます。

JAPAN



災害用時の引手がいた車いす「Janki」ビーチフラッグスを行った



上:4年ぶりの開催となったビーチサッカー 右:ビーチバレーボールスケールの浅尾美和さんが参加 下:東京五輪トライアスロン会場の設営のため、2019年から工事に入り、「お台場ハーバープラン」として生まれ変わるお台場ビーチ

上:ステージ前で行ったモーニングヨガにはたくさんの参加者が見られた 左:パラリンピアン根木慎志さんと一緒に車いすバスケットボール体験

BEACH GAMES Festival 2018

ジャパンビーチゲームスフェスティバル2018
誰もが友達になれるビーチで
ビーチスポーツ14競技を体験!



全競技の代表者が集まった開会式の模様

ビーチゲームス日本招致プロジェクトとして「ジャパン2018」が5月3日(祝・木)から5日(祝・土)の3日間、お台場ビーチで開催された。4回目を迎えた今年のテーマは、「14競技のビーチスポーツの体験」と心のバリアフリーをモットーとしたパラスポーツ体験を主軸に、はだしのテーマパークを演出。3日間で4万人を動員し、およそ2500人がビーチスポーツ体験を楽しんだ。

今年初開催となったのは、「ビーチ雪合戦」「ビーチヨガ」「SUPヨガ」「ビーチドボール」。「車いすバスケットボール」だった。誰もが集う友達になれるビーチというコンセプトを打ち出した実行委員の根木慎志氏を中心、車いす競技者でもビーチを楽しむ競技を展開。災害時の引手がついた車いす「EYE」でビーチフラッグス、ビーチテニス、ビーチのそばで車いすバスケットボールやボチャックの体験会を行った。

評価の見方
 ■色: 白色度
 ■粒: サイズの均一度
 ■グリップ: 踏んだときの剛柔
 ■感触: 踏んだときの気持ちよさ

総合評価
〈はだし〉
3つ!!

サハラ砂漠

アフリカ大陸北部

今回は未知の砂を、想像を最大限利用させて評価した。とある研究所からお借りしたサハラ砂漠の砂である。まずフリーストインプレッションから強烈なインパクトである。私の砂コレクションには全くない色、赤褐色だ。砂には、白砂、黒砂、茶系の砂といういろいろあるが、これほど赤みを持つ砂は類を見ない。宇宙からアフリカ大陸を見たとき、さっと、地球上で赤い存在感を強く放っているだろうと、考えただけでワクワクする。砂粒を目を移すと、きめ細やかなビロロドのようで、そんな表現がピッタリくる。気候と少雨と風が生み出した賜物だろう。そっと指で触れているだけで、サハラ砂漠のイメージが湧き出てくる。久しぶりにソムリエリッツが震える砂と出会えたことに感謝したい。

第10回

砂ソムリエ

朝日健太郎が自利きする



元プロビーチバレーボールプレイヤー! 朝日健太郎が各地の砂を踏んで触って「砂ソムリエ」にふさわしい砂を選ぶ「砂ソムリエ」は、足跡の数で評価する。足跡3つが最高だ。さて連載第10回で取り上げるのは、モロッコに広がるサハラ砂漠の砂。

2019年度事業計画



【2019年度事業計画】※日程は変更になる場合がございます。

タイトル	日程（予定）	会場	推定動員数
須磨ビーチフェスタ2019（スプリングビーチライブ）	5月26日	須磨海岸（兵庫県神戸市）	20,000人
広島県坂町復興支援シンポジウム	6月1日	広島県坂町	300人
第13回ビーチライブIN新潟	7月28日	日和山浜海水浴場（新潟県新潟市）	3,500人
～ビーチの日～メッセージアート展2019	7月30日、31日	お台場デッキ（東京都港区）	15,000人
杉並区スポーツ振興財団事業	8月3日	永福町ビーチコート（東京都杉並区）	50人
シンポジウム「活力ある日本を生み出すビーチへ」	9月	未定	-
ビーチライブふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦2019	9月8日	阿字ヶ浦海水浴場（茨城県ひたちなか市）	2,000人
第1回ワールドビーチゲームズ2019サンディエゴ視察	10月9日～	アメリカ・サンディエゴ	-
ビーチライブin東扇島	10月12日	かわさきの浜（神奈川県川崎市）	10,000人
杉並区スポーツ振興財団事業	10月	杉並区ビーチコート（東京都杉並区）	50人
須磨ビーチフェスタ2019（オータムビーチライブ）	11月上旬	須磨海岸（兵庫県神戸市）	3,000人
お台場ビーチバレーinかわさきの浜	3月～12月	かわさきの浜（神奈川県川崎市）	20,000人
健's BAR	7月31日、12月	お台場デッキ、フロント茅場町	延べ300人

<啓発>

- ①はだし文化新聞11号、12号 発行
- ②ビーチゲームズ日本招致プロジェクト CM制作